

第26回 江東区政世論調査〈概要版〉



スポーツと人情が熱いまち

江東区

【調査設計】

- ・調査対象 江東区在住の満18歳以上の男女
(外国人を含む)
- ・調査対象者数 3,000人
- ・調査方法 郵送配布－郵送・Web回収法
- ・回収数 1,534人
- ・回収率 51.1%
- ・調査期間 令和5年7月12日～8月7日

【報告書〈概要版〉の見方】

- ・回答結果は、回答者数を基数とした百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

江東区

令和5年(2023年)12月

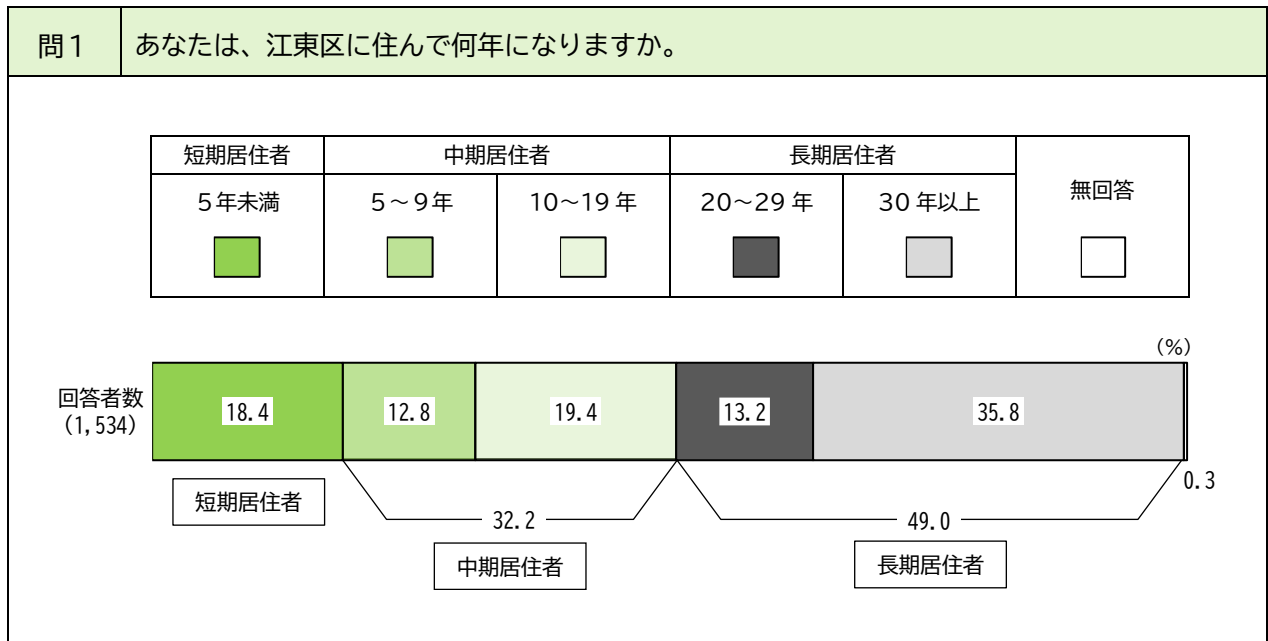
【調査項目】

1. 定住性・・・・・・・・・・・・・1
2. 防災対策・・・・・・・・・・・・・3
3. ごみ・リサイクル・・・・・・・・・・7
4. 交通・・・・・・・・・・・・・9
5. 選挙・・・・・・・・・・・・・11
6. 区議会・・・・・・・・・・・・・14
7. 図書館・・・・・・・・・・・・・15
8. 緑化推進・・・・・・・・・・・・・16
9. 公園・・・・・・・・・・・・・19
10. 環境・・・・・・・・・・・・・22
11. 児童虐待・・・・・・・・・・・・・23
12. 広報・・・・・・・・・・・・・25
13. DX・ICT・・・・・・・・・・・・・30
14. 男女共同参画・・・・・・・・・・・・・34
15. コロナ禍による生活の変化・・・・35
16. 施策への要望・・・・・・・・・・・・・36

1 定住性

(1) 居住年数

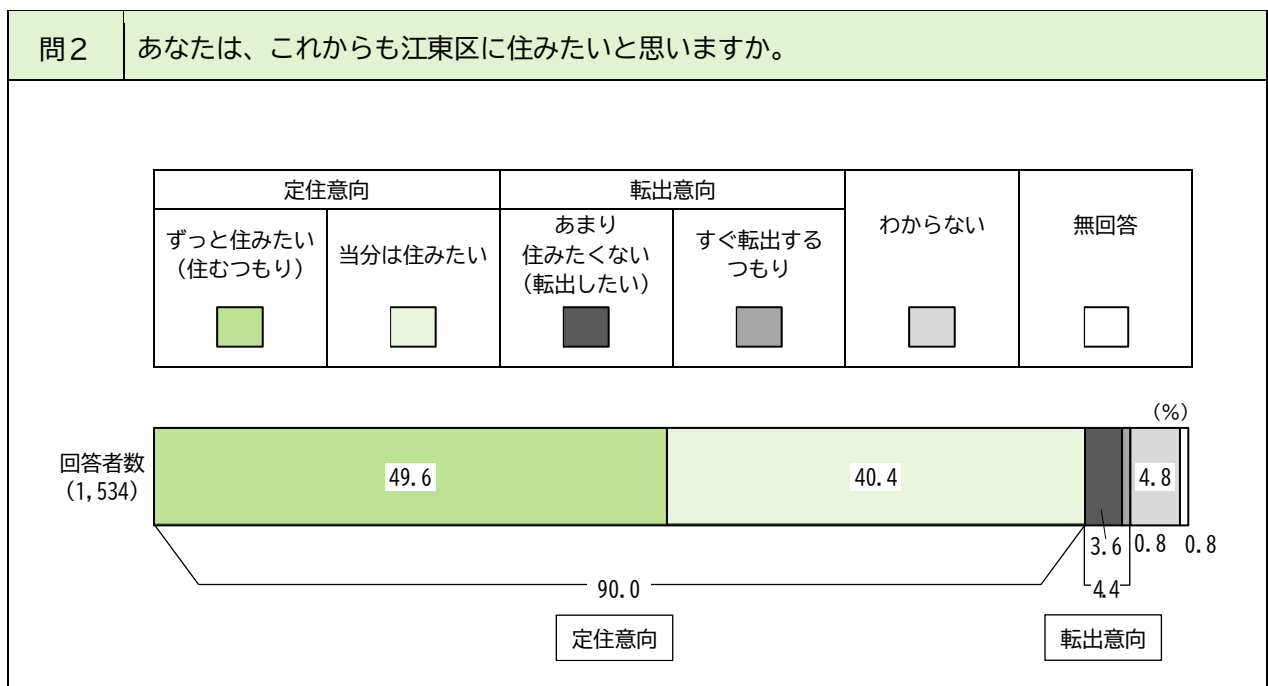
◇「長期居住者」はほぼ5割



○居住年数については、「20～29年」(13.2%)と「30年以上」(35.8%)の2つを合わせた「長期居住者」(49.0%)がほぼ5割となっている。

(2) 定住・転出意向

◇「定住意向」は9割

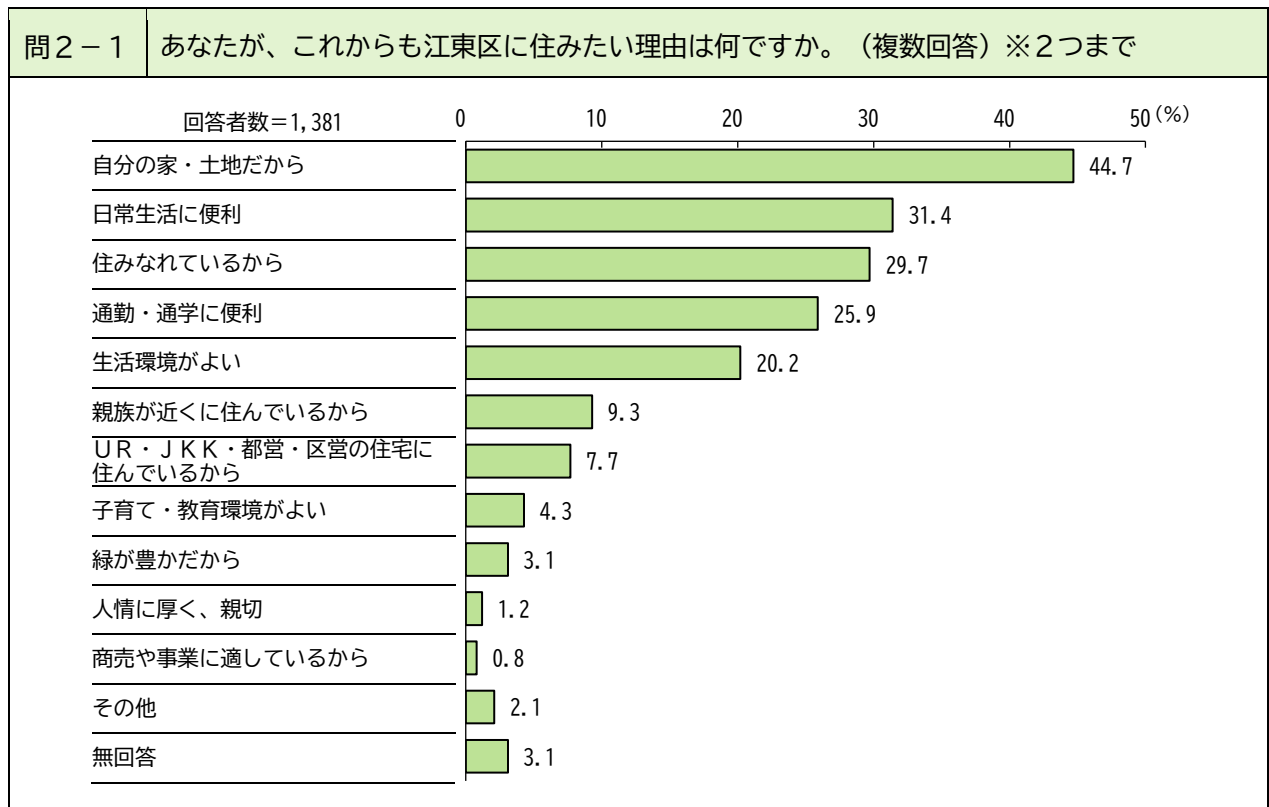


○定住・転出意向については、「ずっと住みたい(住むつもり)」(99.6%)と「当分は住みたい」(1.6%)の2つを合わせた「定住意向」(90.0%)は9割となっている。

1 定住性

(3) 定住意向理由

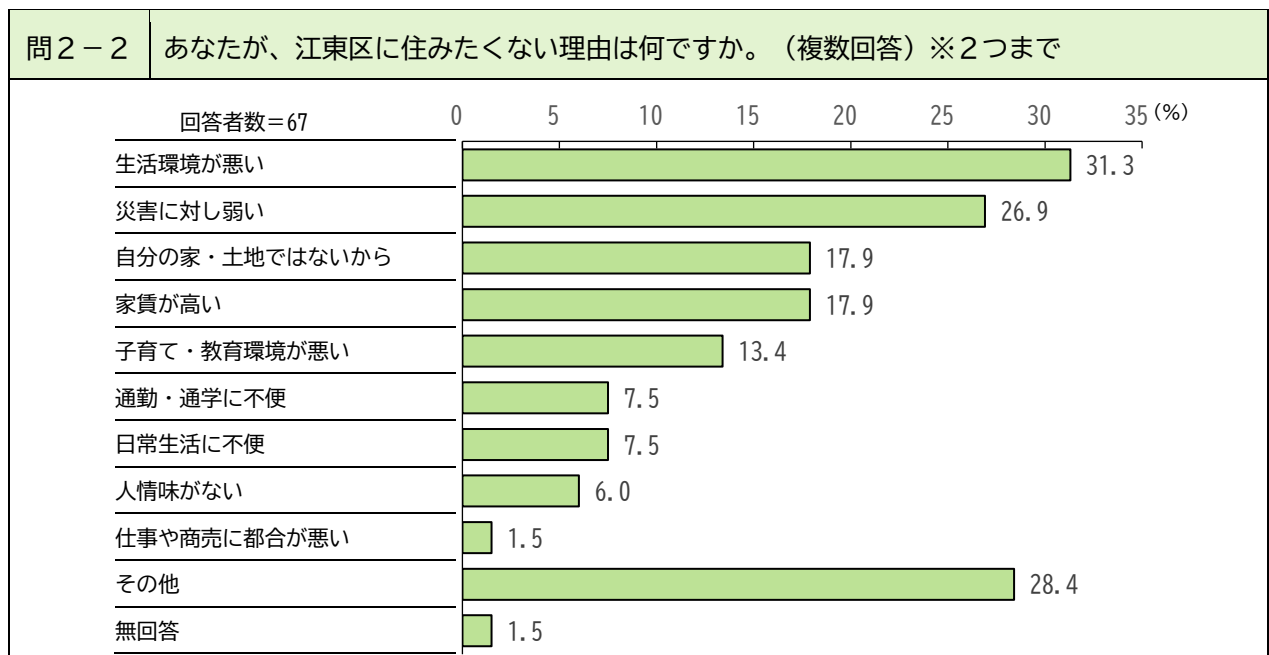
◇「自分の家・土地だから」が4割台半ば



○定住意向理由については、「自分の家・土地だから」(44.7%)が4割台半ばで最も多く、次いで「日常生活に便利」(31.4%)、「住みなれているから」(29.7%)と続いている。

(4) 転出意向理由

◇「生活環境が悪い」が3割を超える

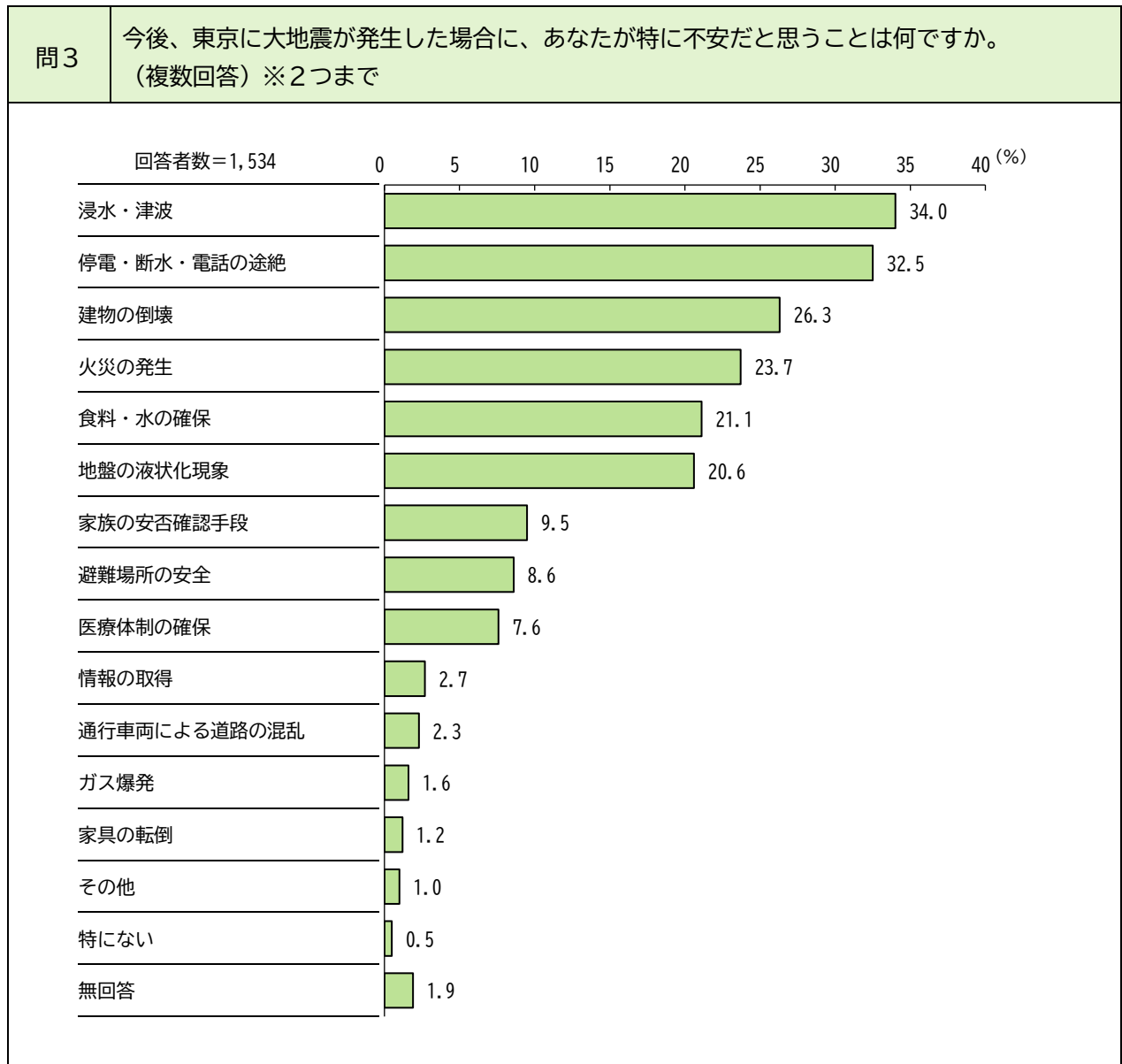


○転出意向理由としては、「生活環境が悪い」(31.3%)が3割を超えて最も多く、次いで「災害に対し弱い」(26.9%)、「自分の家・土地ではないから」(17.9%)、「家賃が高い」(17.9%)と続いている。

2 防災対策

(1) 震災時の不安

◇「浸水・津波」が3割台半ば



○大地震が起きたときに特に不安だと思うことを聞いたところ、「浸水・津波」(34.0%)が3割台半ばで最も多く、次いで「停電・断水・電話の途絶」(32.5%)、「建物の倒壊」(26.3%)と続いている。

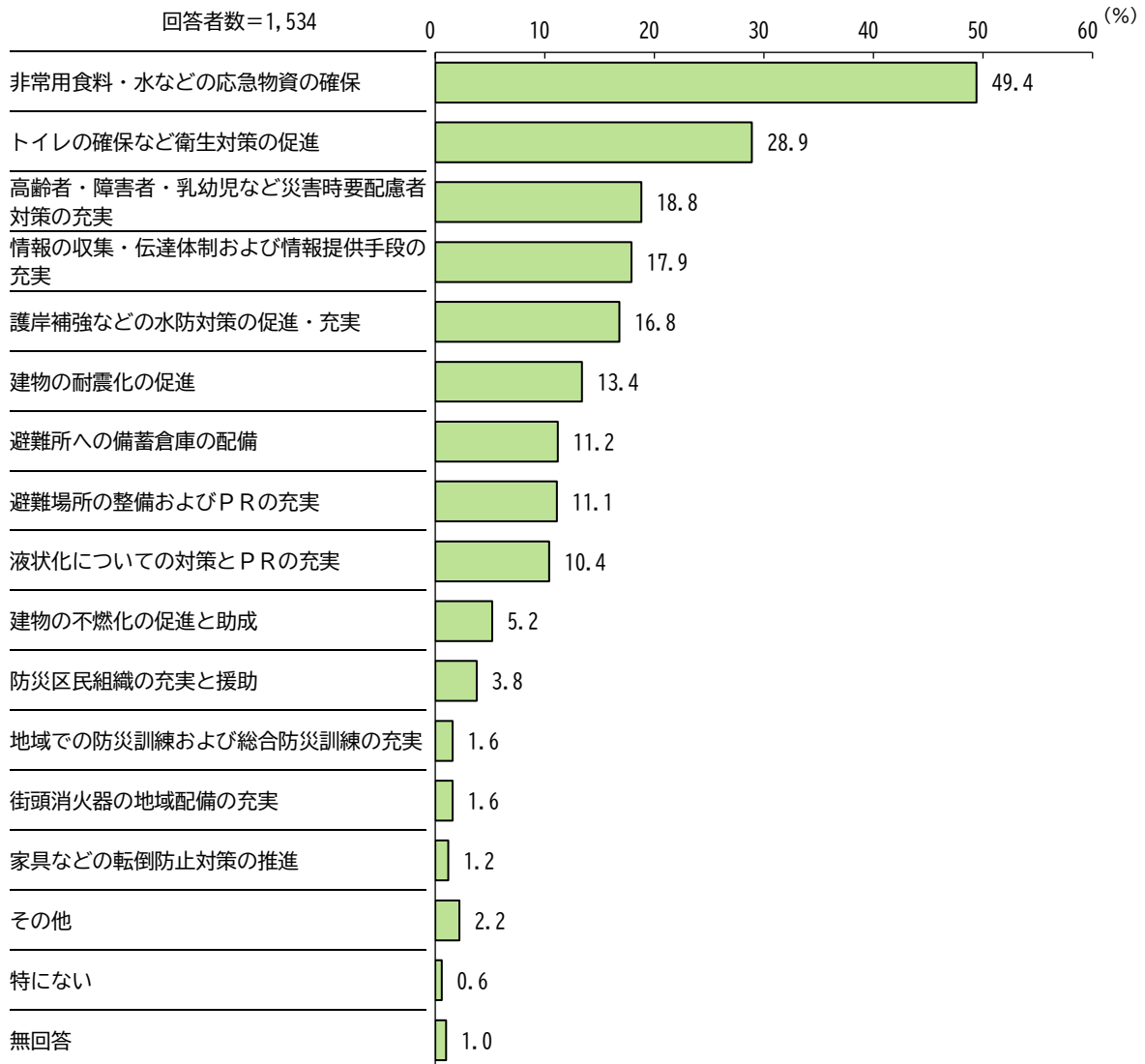
2 防災対策

(2) 大地震の際の防災対策への要望

◇「非常用食料・水などの応急物資の確保」がほぼ5割

問4

あなたが、大地震の際の防災対策として、江東区に特に力を入れてほしいことは何ですか。
(複数回答) ※2つまで

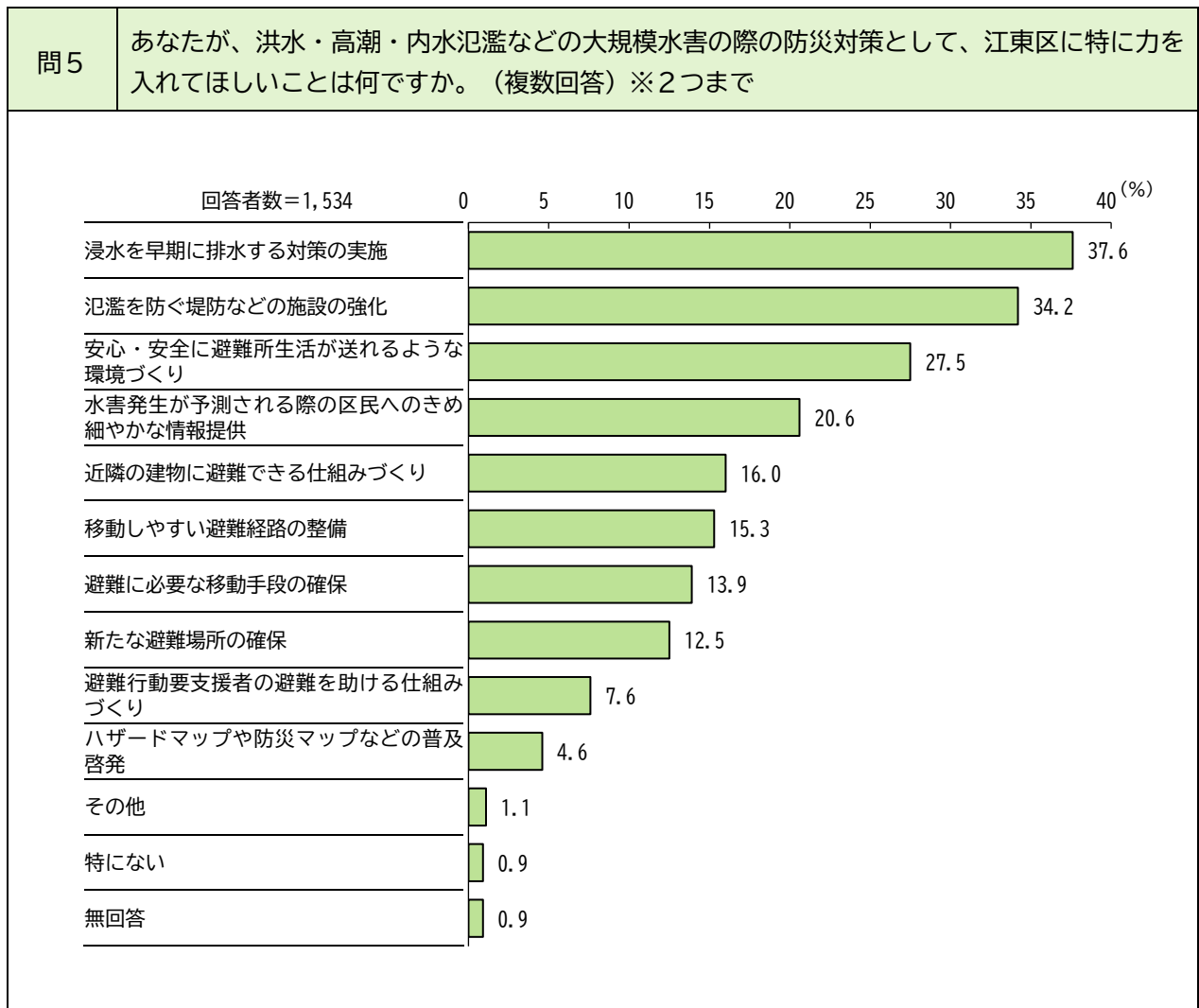


○大地震の際の防災対策として江東区に特に力を入れてほしいことは何か聞いたところ、「非常用食料・水などの応急物資の確保」(49.4%)がほぼ5割で最も多く、次いで「トイレの確保など衛生対策の促進」(28.9%)、「高齢者・障害者・乳幼児など災害時要配慮者対策の充実」(18.8%)と続いている。

(3) 大規模水害の際の防災対策への要望

新規

◇「浸水を早期に排水する対策の実施」が4割近く

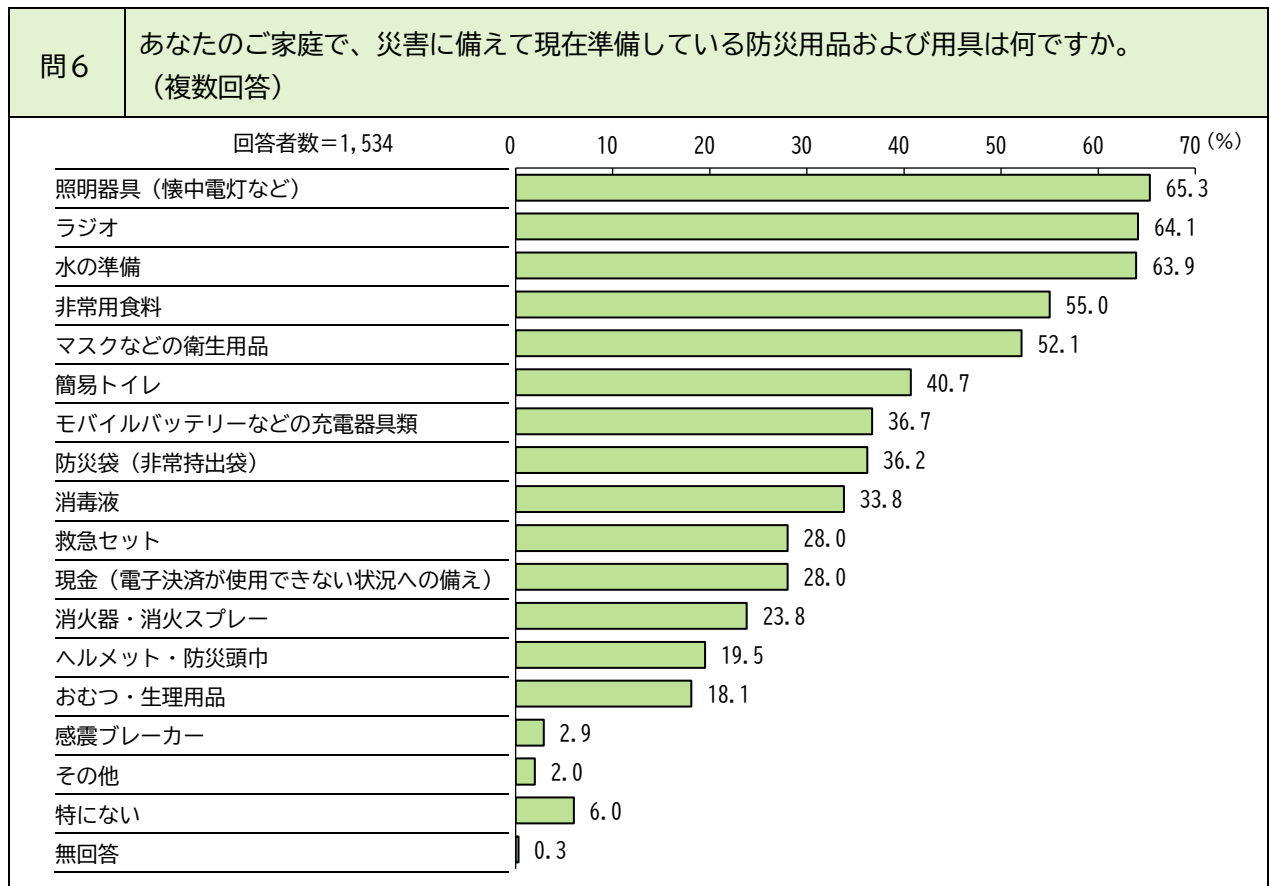


○洪水・高潮・内水氾濫などの大規模水害の際の防災対策として江東区に特に力を入れてほしいことは何か聞いたところ、「浸水を早期に排水する対策の実施」（37.6%）が4割近くで最も多く、次いで「氾濫を防ぐ堤防などの施設の強化」（34.2%）、「安心・安全に避難所生活を送れるような環境づくり」（27.5%）と続いている。

2 防災対策

(4) 家庭内で準備している防災用品・用具

◇「照明器具（懐中電灯など）」と「ラジオ」が6割台半ば

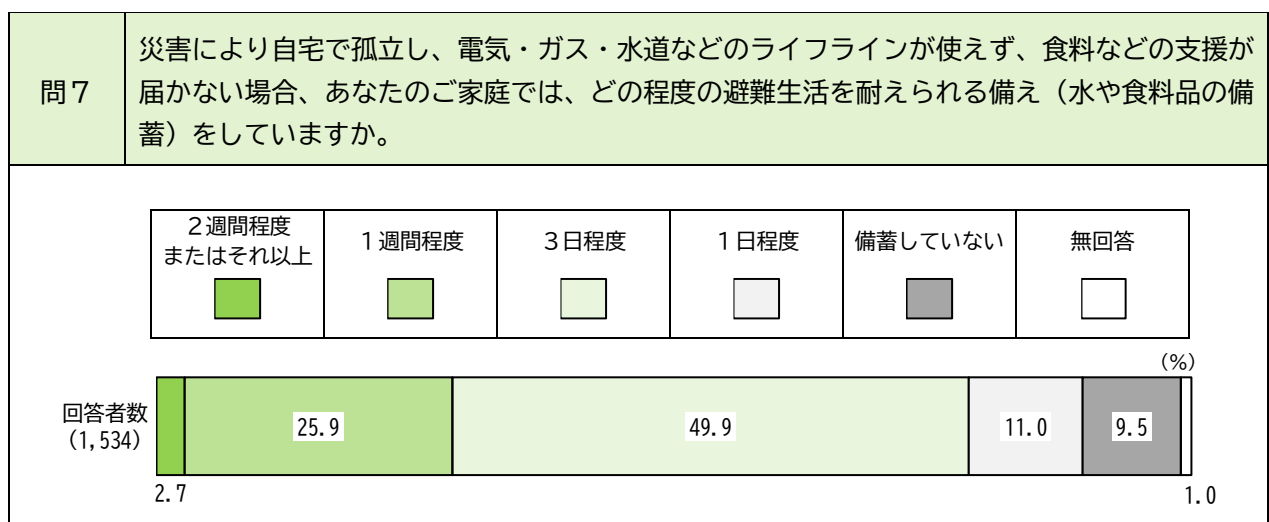


○災害に備えて家庭で準備している防災用品および用具を聞いたところ、「照明器具（懐中電灯など）」（65.3%）と「ラジオ」（64.1%）が6割台半ば、次いで「水の準備」（63.9%）も6割を超えている。

(5) 在宅避難の備え

新規

◇「3日程度」が5割

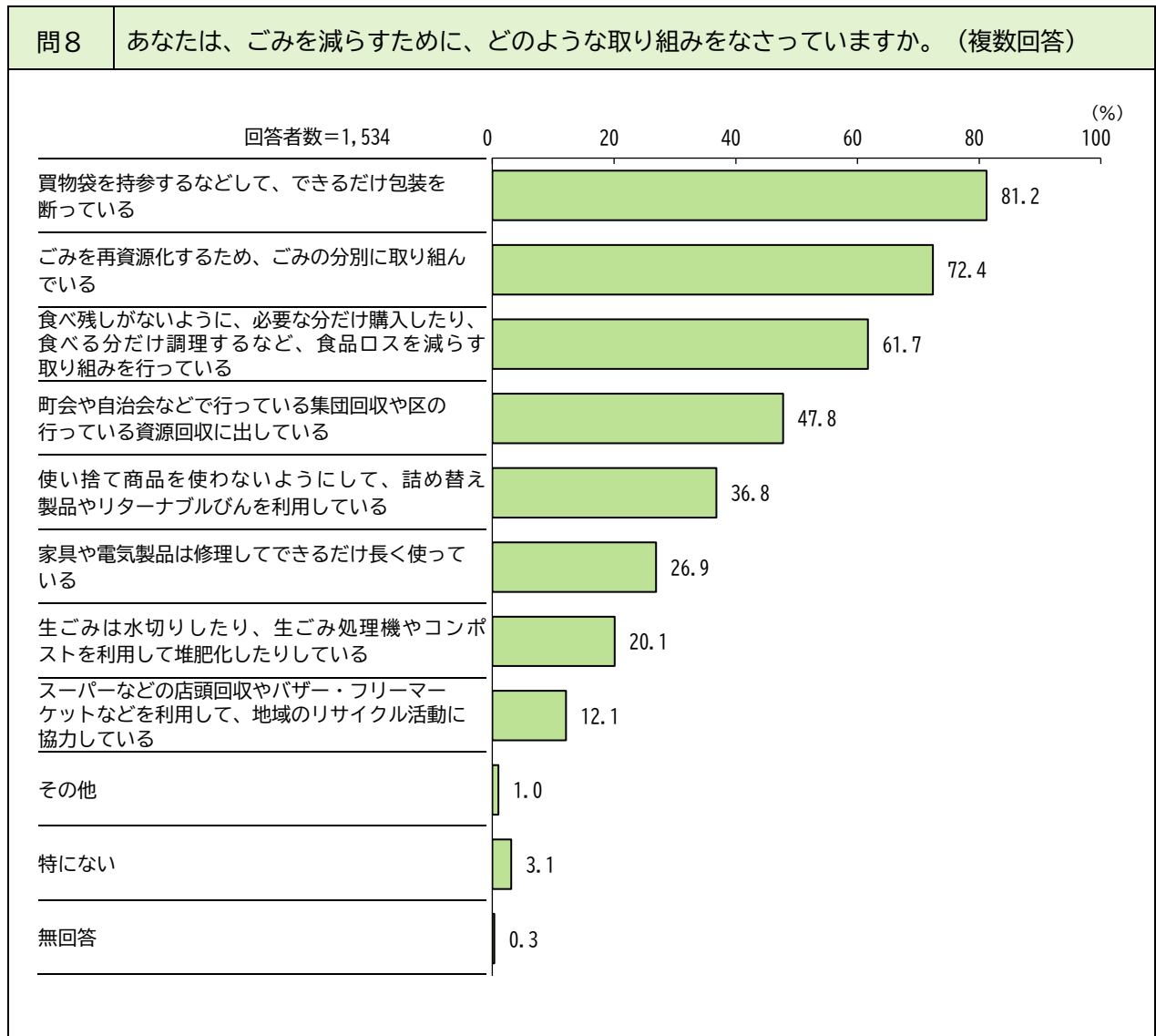


○災害により自宅で孤立した場合、どの程度の避難生活を耐えられる備えをしているか聞いたところ、「3日程度」（49.9%）が5割で最も多く、次いで「1週間程度」（25.9%）、「1日程度」（11.0%）と続いている。

3 ごみ・リサイクル

(1) ごみを減らすために行っている取り組み

◇「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」が8割を超える

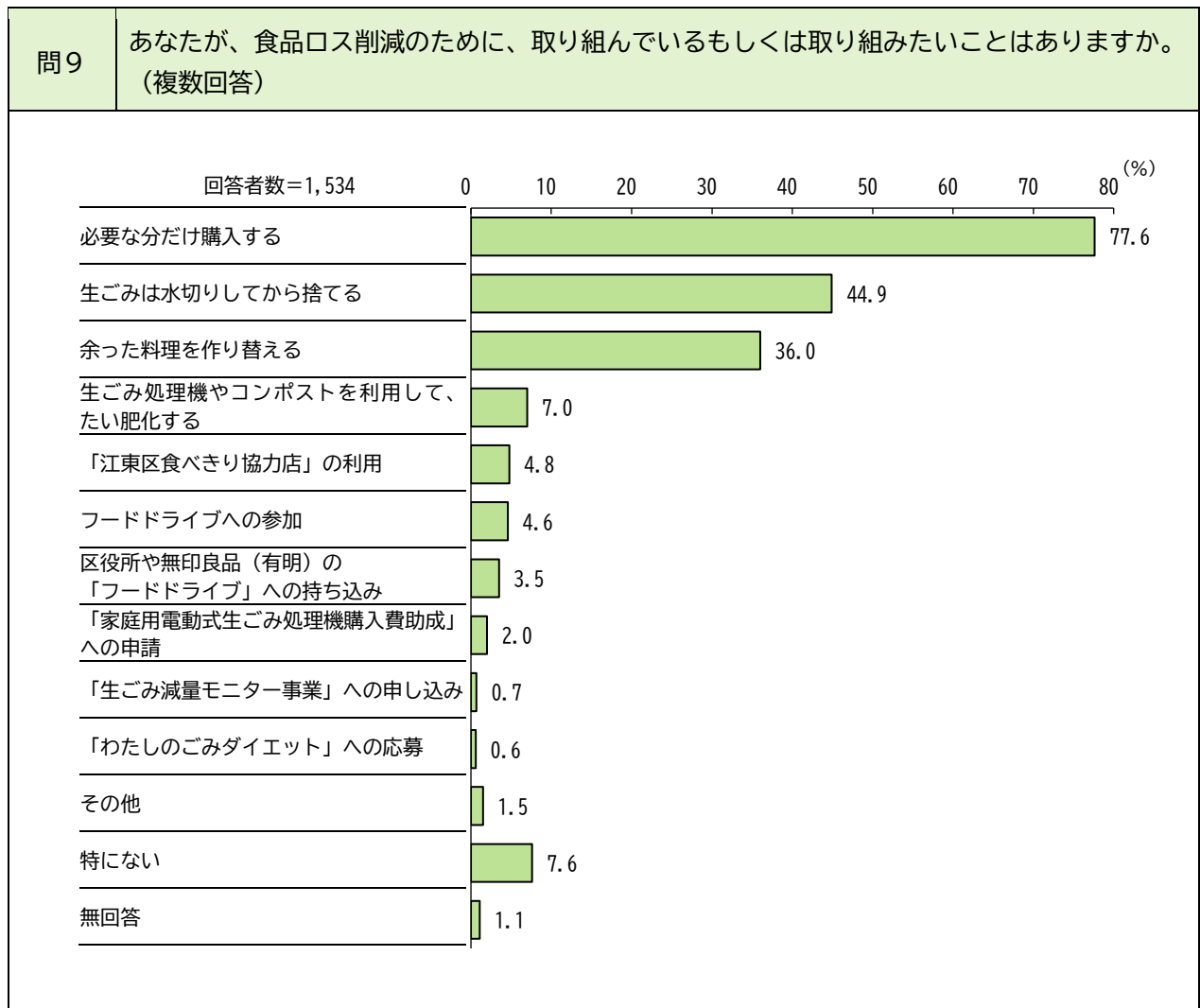


- ごみを減らすために行っている取り組みを聞いたところ、「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」（81.2%）が8割を超えて最も多く、次いで「ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる」（72.4%）、「食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている」（61.7%）と続いている。

(2) 食品ロス削減のために取り組んでいること、取り組みたいこと

新規

◇「必要な分だけ購入する」が8割近く

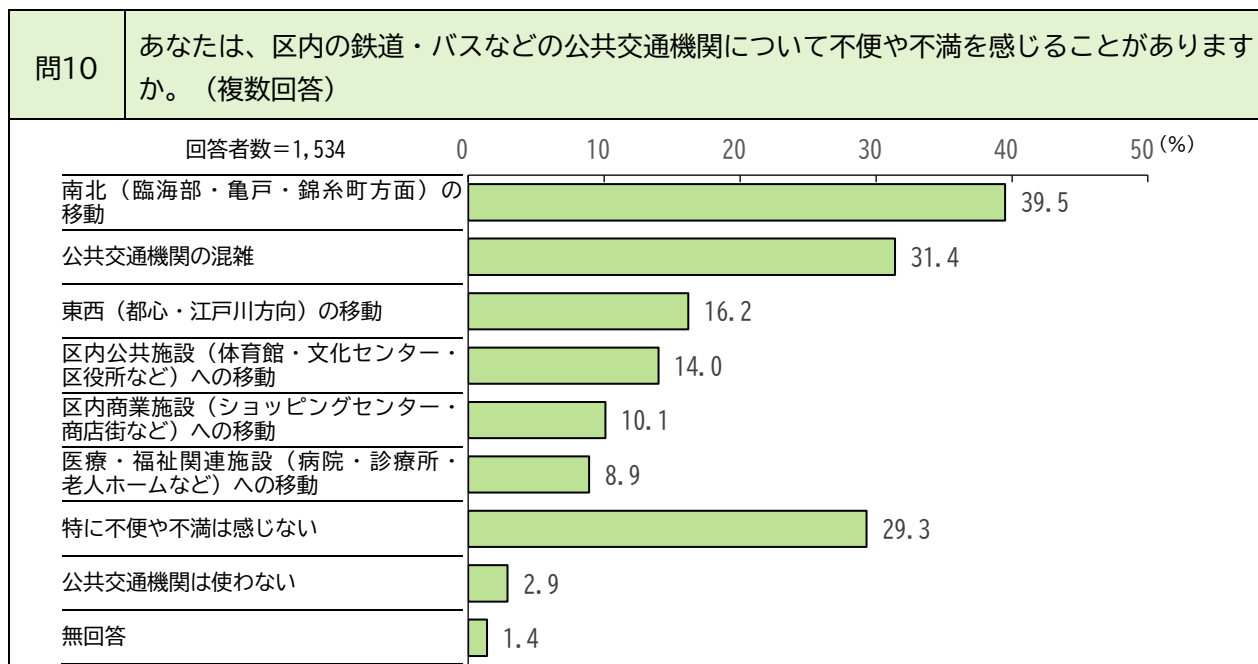


○食品ロス削減のために取り組んでいるもしくは取り組みたいことを聞いたところ、「必要な分だけ購入する」(77.6%)が8割近くで最も多く、次いで「生ごみは水切りしてから捨てる」(44.9%)、「余った料理を作り替える」(36.0%)と続いている。

4 交通

(1) 区内の公共交通機関で不便や不満を感じること

◇「南北（臨海部・亀戸・錦糸町方面）の移動」が4割

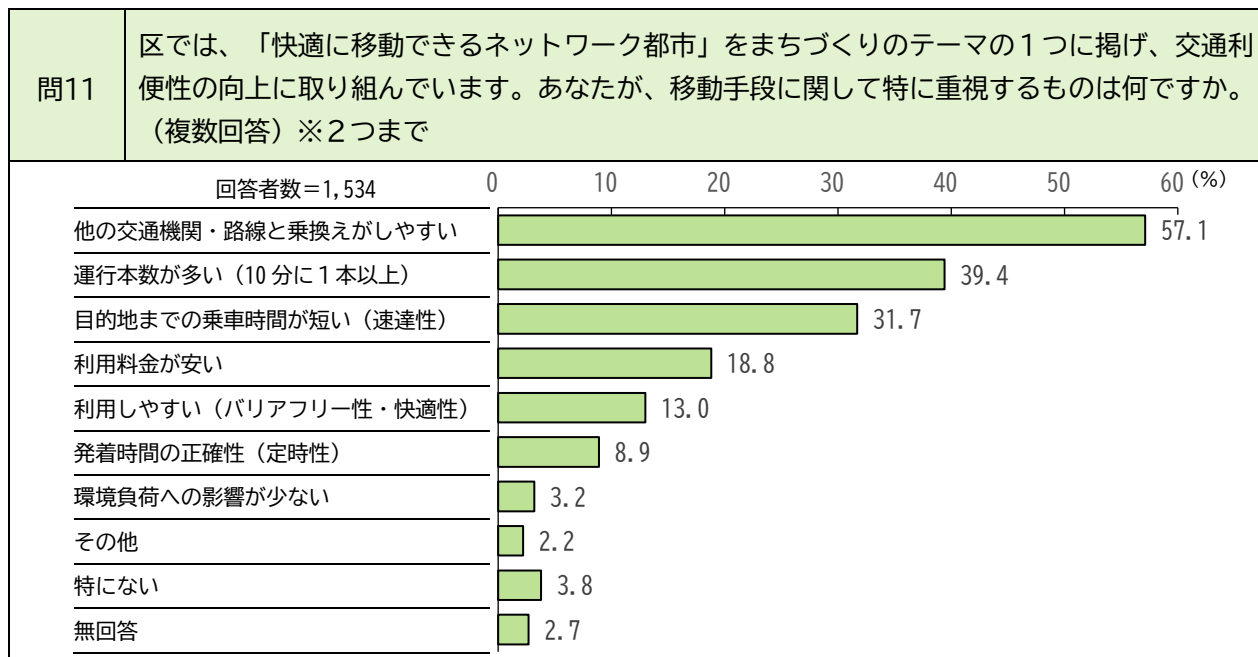


○区内の鉄道・バスなどの公共交通機関について不便や不満を感じることを聞いたところ、「南北（臨海部・亀戸・錦糸町方面）の移動」（39.5%）が4割で最も多く、次いで「公共交通機関の混雑」（31.4%）、「東西（都心・江戸川方向）の移動」（16.2%）と続いている。

(2) 移動手段で重視するもの

新規

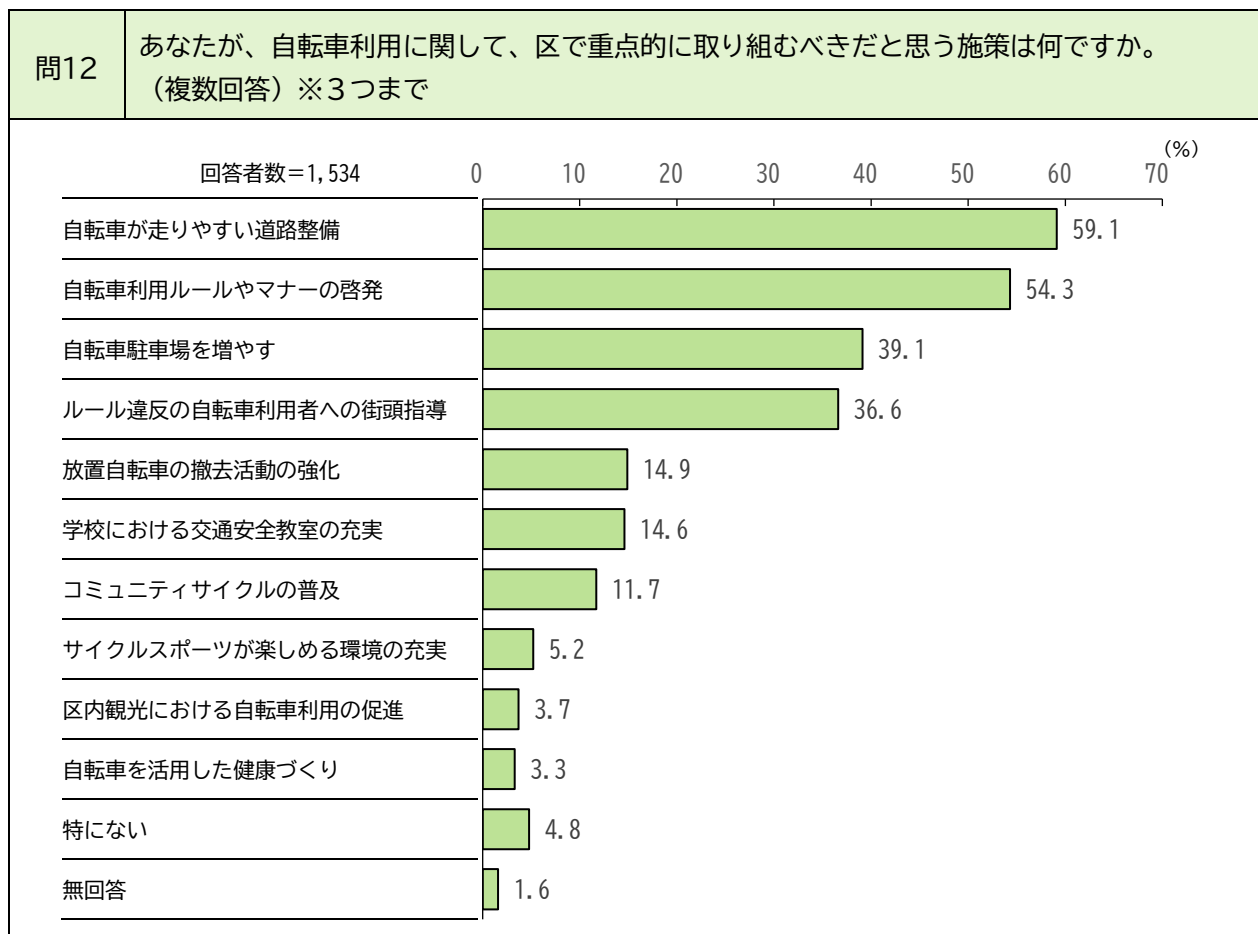
◇「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」が6割近く



○移動手段に関して特に重視するものを聞いたところ、「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」（57.1%）が6割近くで最も多く、次いで「運行本数が多い（10分に1本以上）」（39.4%）、「目的地までの乗車時間が短い（速達性）」（31.7%）と続いている。

(3) 自転車利用について区が取り組むべき施策

◇「自転車が走りやすい道路整備」がほぼ6割

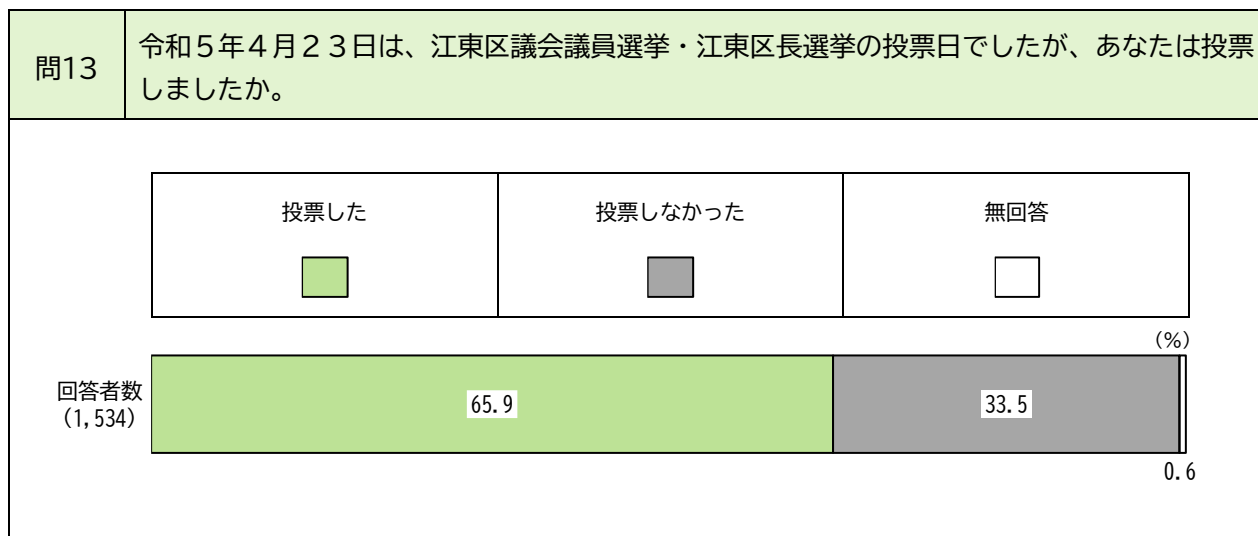


○自転車利用に関して区で重点的に取り組むべきだと思う施策について聞いたところ、「自転車が走りやすい道路整備」(59.1%)がほぼ6割で最も多く、次いで「自転車利用ルールやマナーの啓発」(54.3%)、「自転車駐車を増やす」(39.1%)と続いている。

5 選挙

(1) 江東区議会議員選挙・江東区長選挙の投票の有無

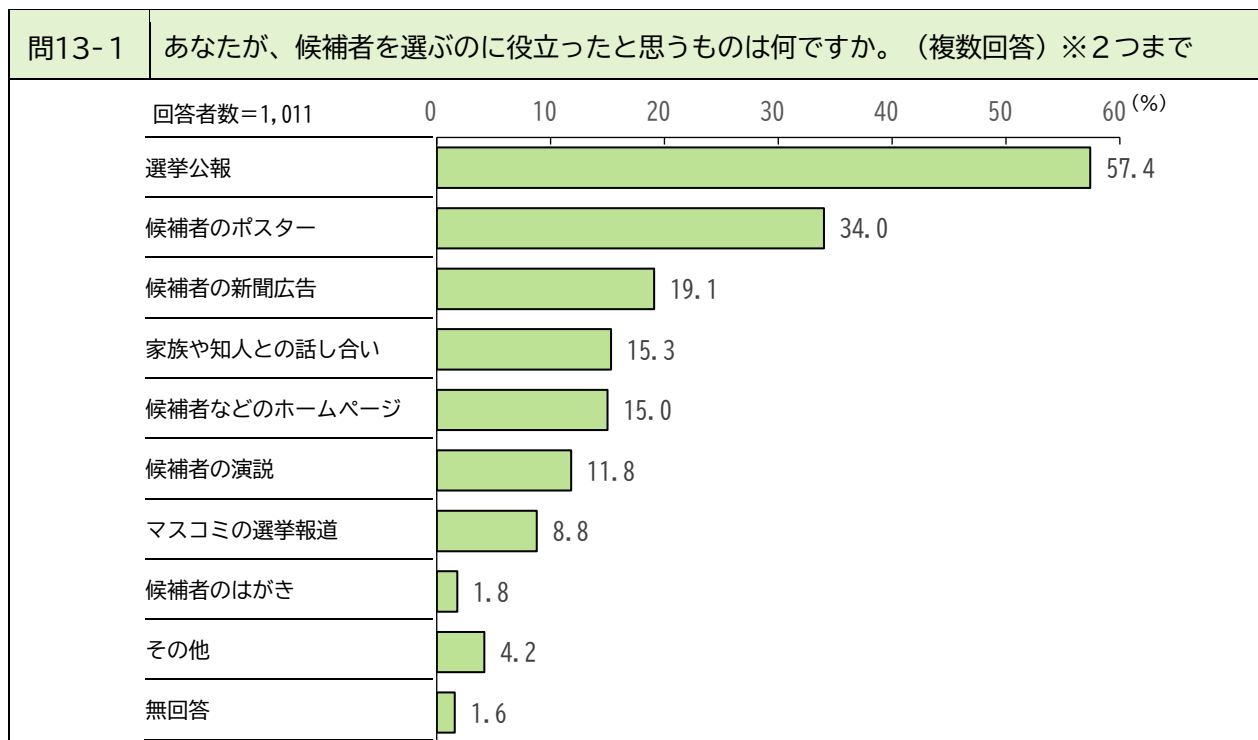
◇「投票した」が6割台半ば



○令和5年4月23日の江東区議会議員選挙・江東区長選挙に投票したかを聞いたところ、「投票した」（65.9%）は6割台半ばとなっている。なお、実際の江東区議会議員選挙の投票率は48.87%、江東区長選挙の投票率は48.86%であった。

(2) 候補者を選ぶのに役立ったと思うもの

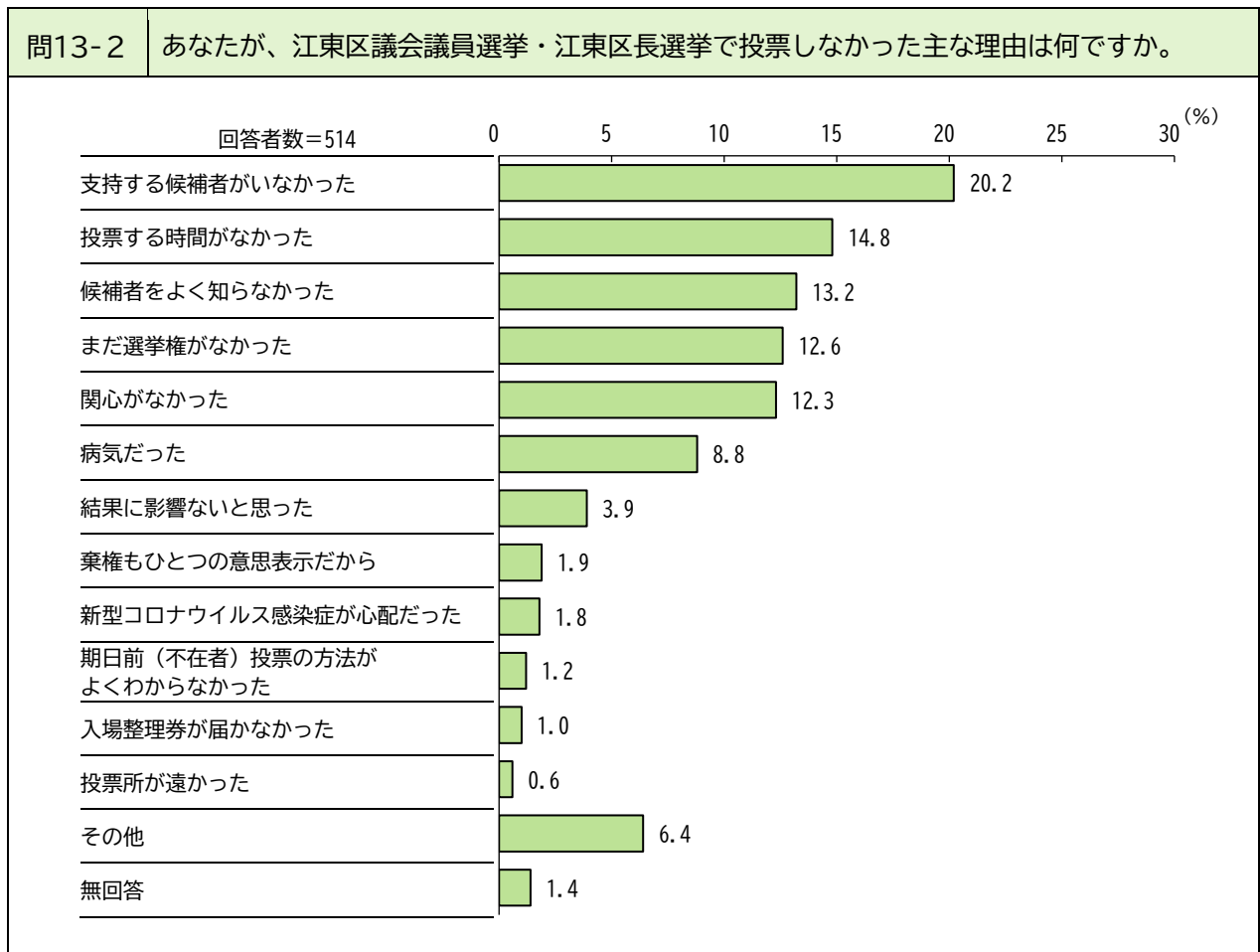
◇「選挙公報」が6割近く



○令和5年4月に行われた江東区議会議員選挙・江東区長選挙に「投票した」と答えた方（1,011人）に、候補者を選ぶのに役立ったと思うものは何か聞いたところ、「選挙公報」（57.4%）が6割近くで最も多く、次いで「候補者のポスター」（34.0%）、「候補者の新聞広告」（19.1%）と続いている。

(3) 投票しなかった理由

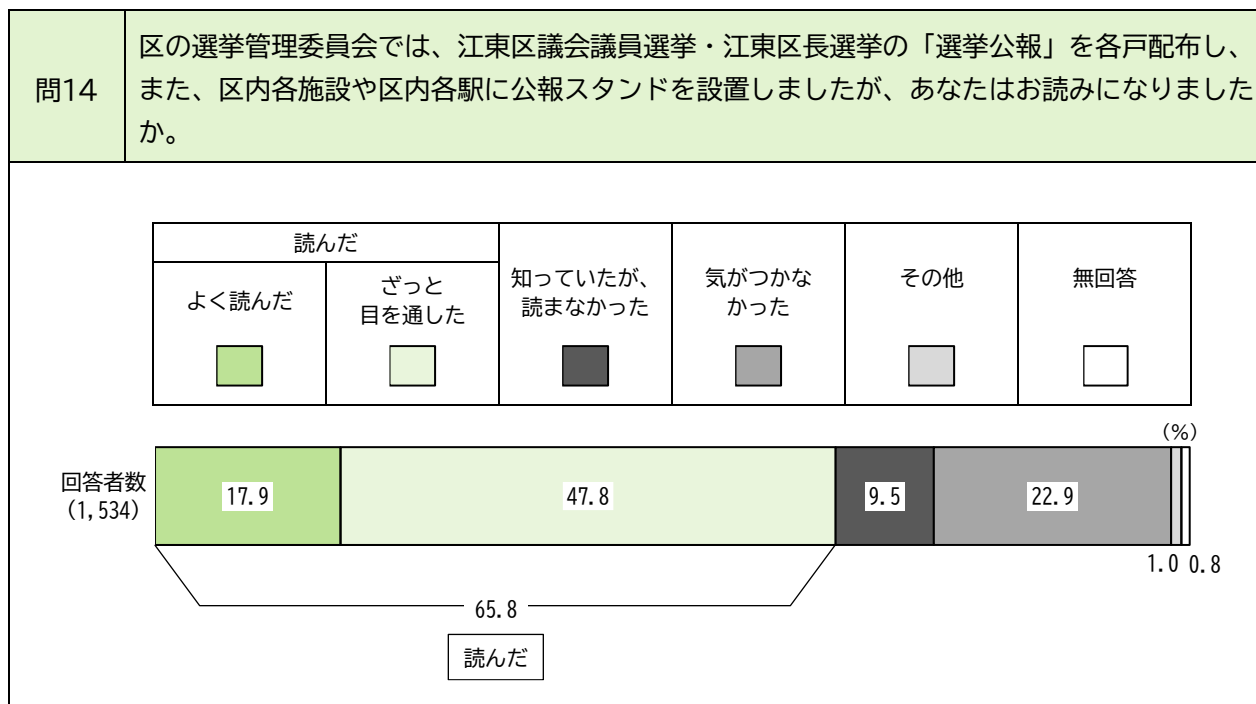
◇「支持する候補者がいなかった」が2割



○令和5年4月に行われた江東区議会議員選挙・江東区長選挙に「投票しなかった」と答えた方（514人）に、その理由を聞いたところ、「支持する候補者がいなかった」（20.2%）が2割で最も多く、次いで「投票する時間がなかった」（14.8%）、「候補者をよく知らなかった」（13.2%）と続いている。

(4) 「選挙公報」の閲読状況

◇「読んだ」は6割台半ば

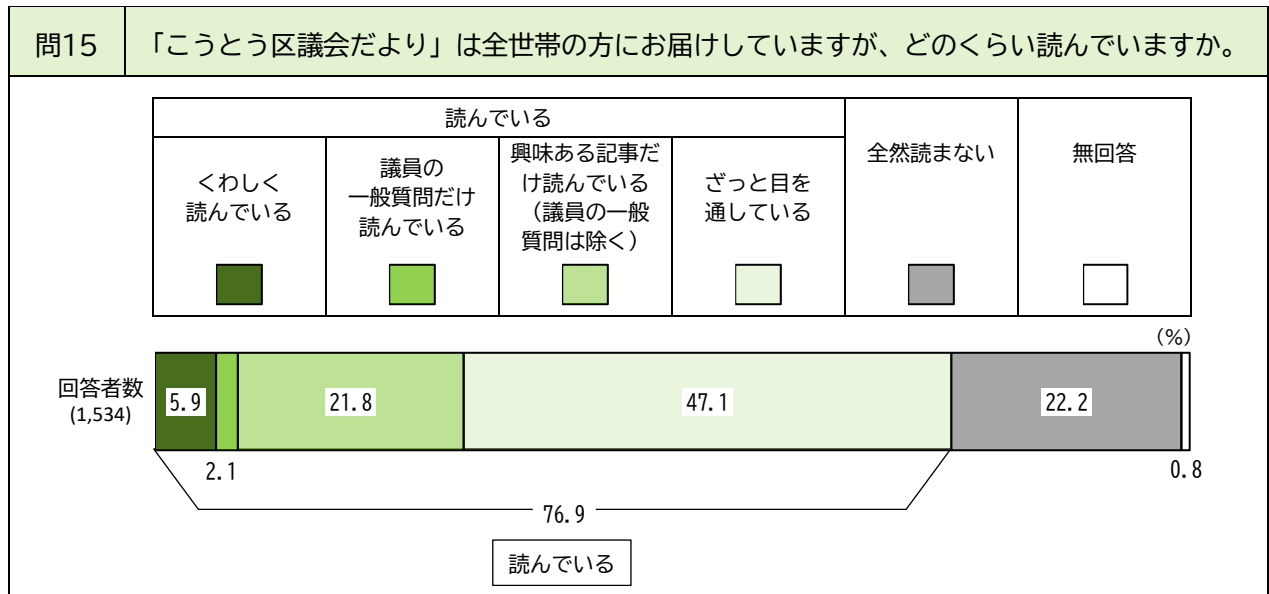


○江東区議会議員選挙・江東区長選挙の「選挙公報」を読んだか聞いたところ、「よく読んだ」(17.9%)と「ざっと目を通した」(47.8%)の2つを合わせた「読んだ」(65.8%)は6割台半ばとなっている。一方、「知っていたが、読まなかった」(9.5%)は1割未満、「気がつかなかった」(22.9%)は2割を超えている。

6 区議会

(1) 「こうとう区議会だより」の閲読状況

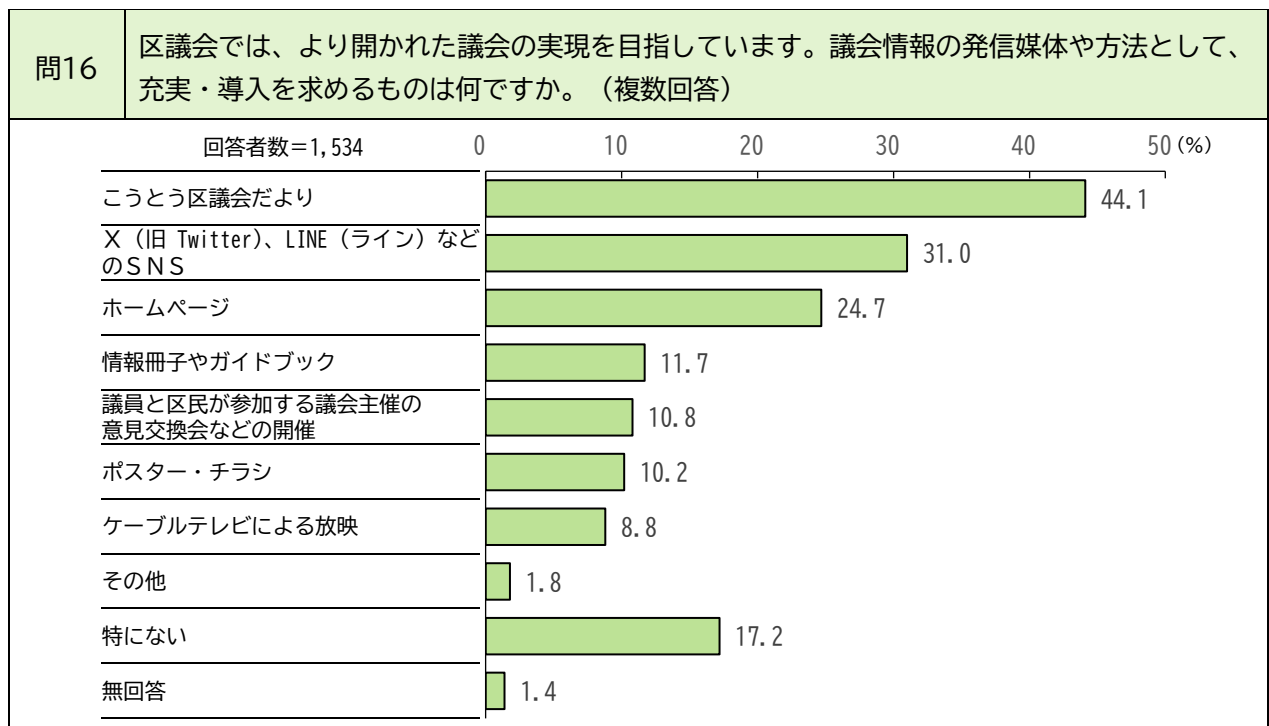
◇「読んでいます」は8割近く



- 「こうとう区議会だより」をどのくらい読んでいますか聞いたところ、「くわしく読んでいます」(5.9%)、「議員の一般質問だけ読んでいます」(2.1%)、「興味ある記事だけ読んでいます(議員の一般質問は除く)」(21.8%)、「ざっと目を通している」(47.1%)の4つを合わせた「読んでいます」(76.9%)が8割近くとなっている。

(2) 充実・導入してほしい議会情報の発信媒体

◇「こうとう区議会だより」が4割台半ば

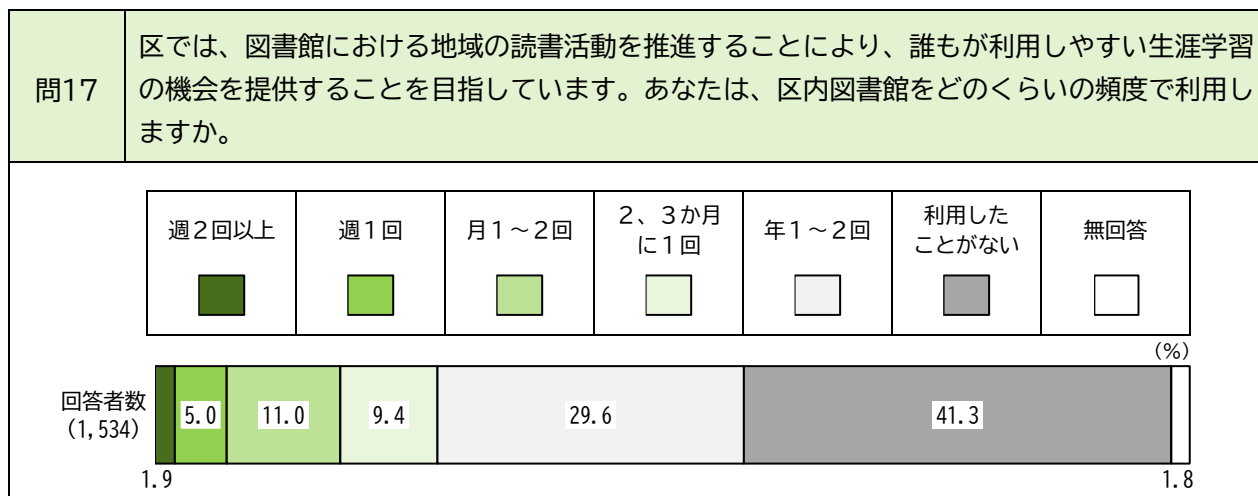


- 充実・導入してほしい議会情報の発信媒体を聞いたところ、「こうとう区議会だより」(44.1%)が4割台半ばで最も多く、次いで「X (旧 Twitter)、LINE (ライン) などのSNS」(31.0%)、「ホームページ」(24.7%)と続いている。

7 図書館

(1) 区内図書館の利用頻度

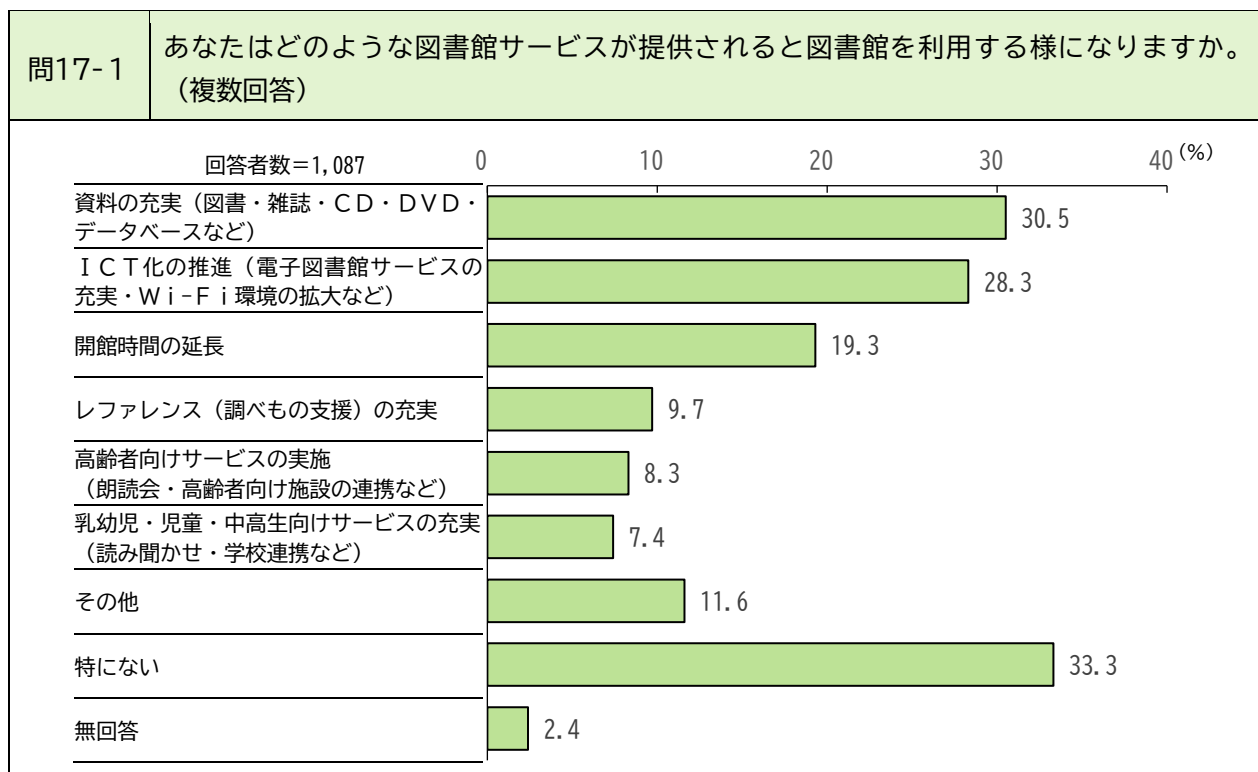
◇「年1～2回」が3割



○区内図書館の利用頻度を聞いたところ、「年1～2回」(29.6%)が3割となっている。一方、「利用したことがない」(41.3%)は4割を超えている。

(2) 図書館サービスへの要望

◇「資料の充実(図書・雑誌・CD・DVD・データベースなど)」がほぼ3割

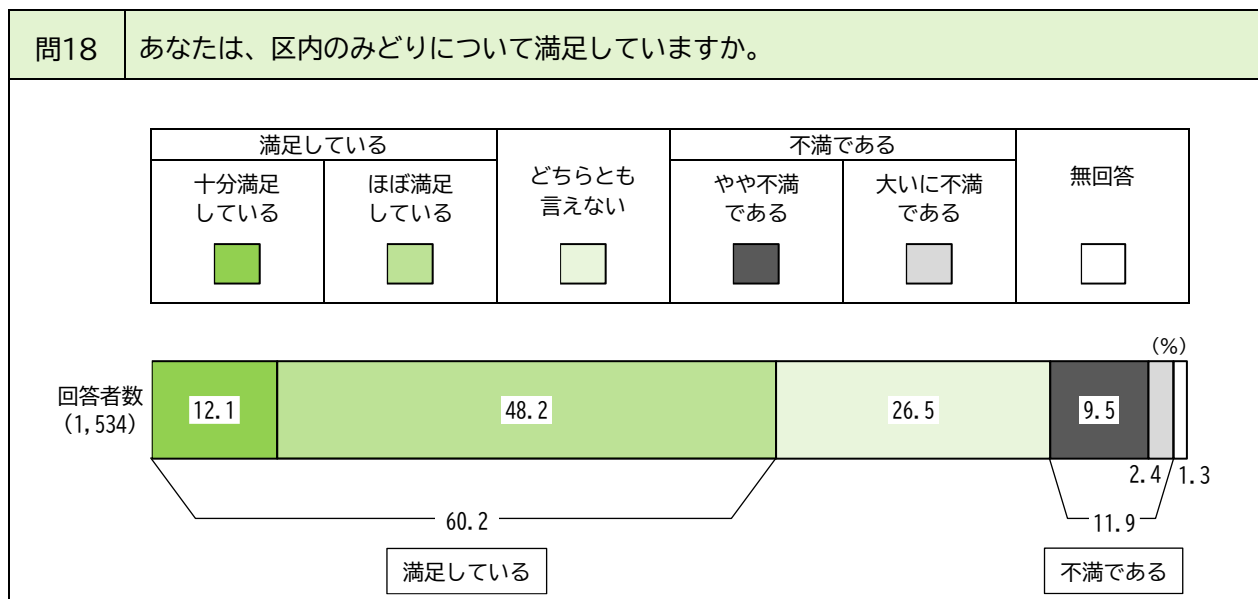


○区内図書館の利用頻度を、「年1～2回」か「利用したことがない」と答えた方(1,087人)に、どのようなサービスが提供されると図書館を利用するか聞いたところ、「資料の充実(図書・雑誌・CD・DVD・データベースなど)」(30.5%)がほぼ3割で最も多く、次いで「ICT化の推進(電子図書館サービスの充実・Wi-Fi環境の拡大など)」(28.3%)、「開館時間の延長」(19.3%)と続いている。

8 緑化推進

(1) 区内のみどりの満足度

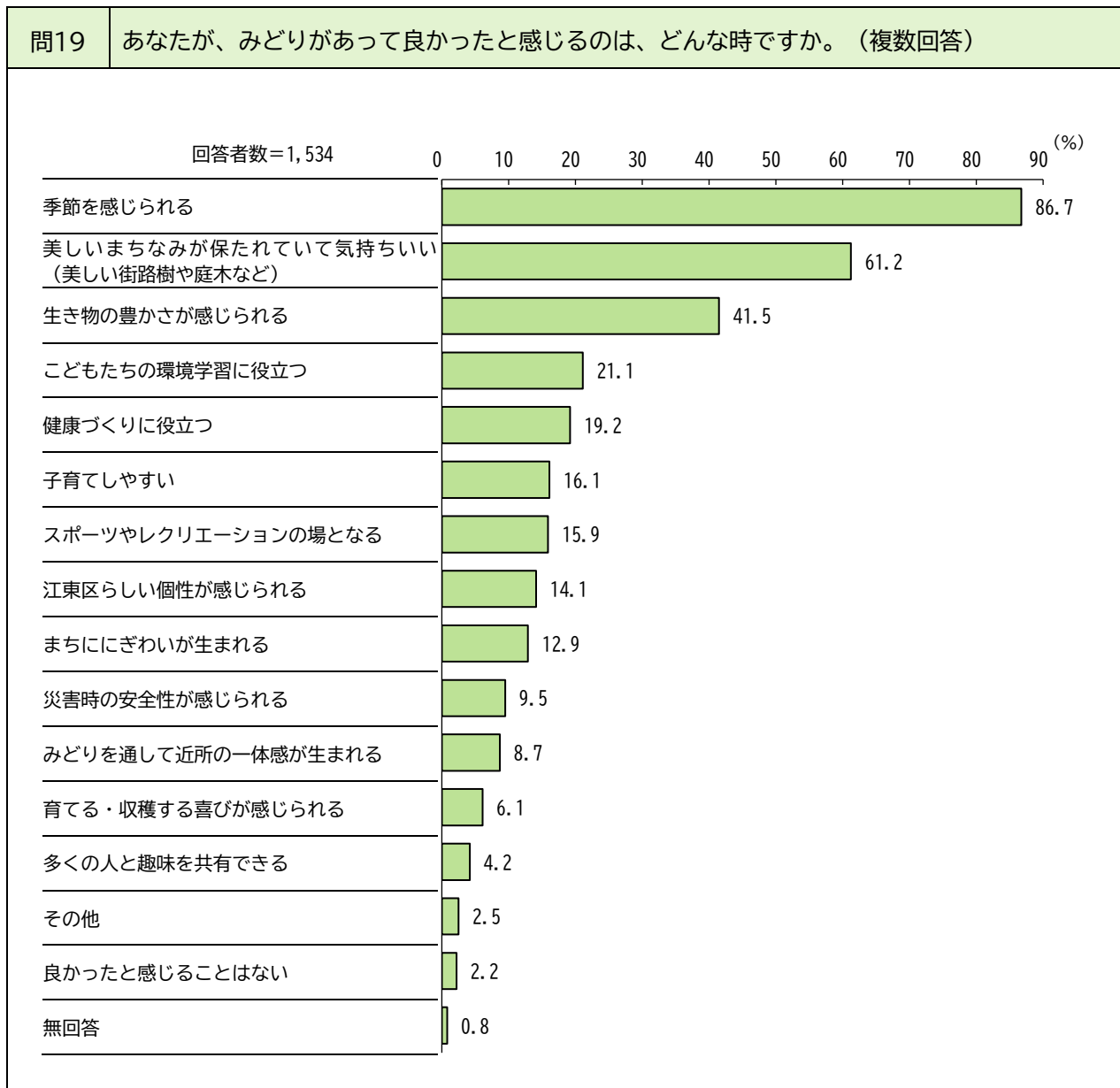
◇「満足している」が6割



- 区内のみどりについて満足しているか聞いたところ、「十分満足している」(12.1%)と「ほぼ満足している」(48.2%)の2つを合わせた「満足している」(60.2%)は6割となっている。一方、「やや不満である」(9.5%)と「大いに不満である」(2.4%)の2つを合わせた「不満である」(11.9%)は1割を超えている。

(2) どんな時に、みどりがあって良かったと感じるか

◇「季節を感じられる」が9割近く

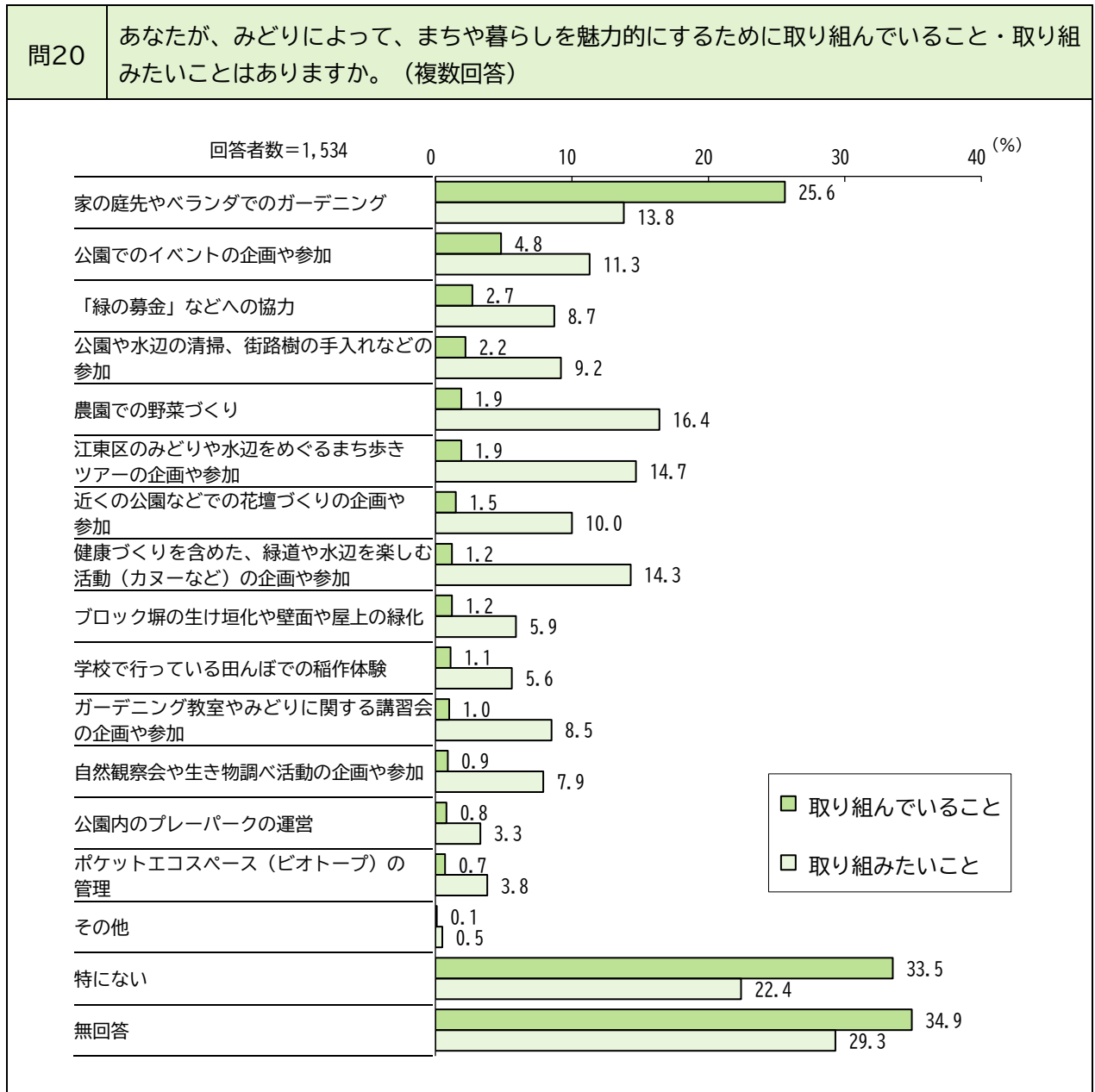


○みどりがあって良かったと感じるのは、どんな時か聞いたところ、「季節を感じられる」（86.7%）が9割近くで最も多く、次いで「美しいまちなみが保たれていて気持ちいい（美しい街路樹や庭木など）」（61.2%）、「生き物の豊かさが感じられる」（41.5%）と続いている。

(3) 取り組んでいる、または今後取り組みたいと思うみどりに関する事業

◇取り組んでいることでは、「家の庭先やベランダでのガーデニング」が2割台半ば

◇取り組みたいことでは、「農園での野菜づくり」が1割台半ば

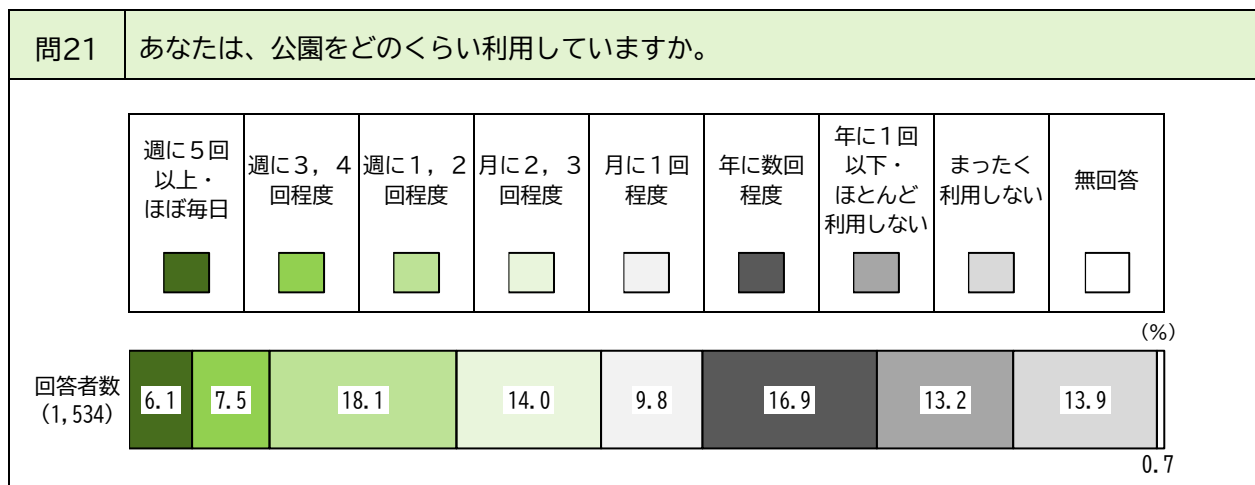


○みどりによって、まちや暮らしを魅力的にするために取り組んでいること・取り組みたいことはあるか聞いたところ、取り組んでいることでは、「家の庭先やベランダでのガーデニング」（25.6%）が2割台半ばで最も多く、次いで「公園でのイベントの企画や参加」（4.8%）、「『緑の募金』などへの協力」（2.7%）と続いている。一方、取り組みたいことでは、「農園での野菜づくり」（16.4%）が1割台半ばで最も多く、次いで「江東区のみどりや水辺をめぐるまち歩きツアーの企画や参加」（14.7%）、「健康づくりを含めた、緑道や水辺を楽しむ活動（カヌーなど）の企画や参加」（14.3%）と続いている。

9 公園

(1) 公園の利用頻度

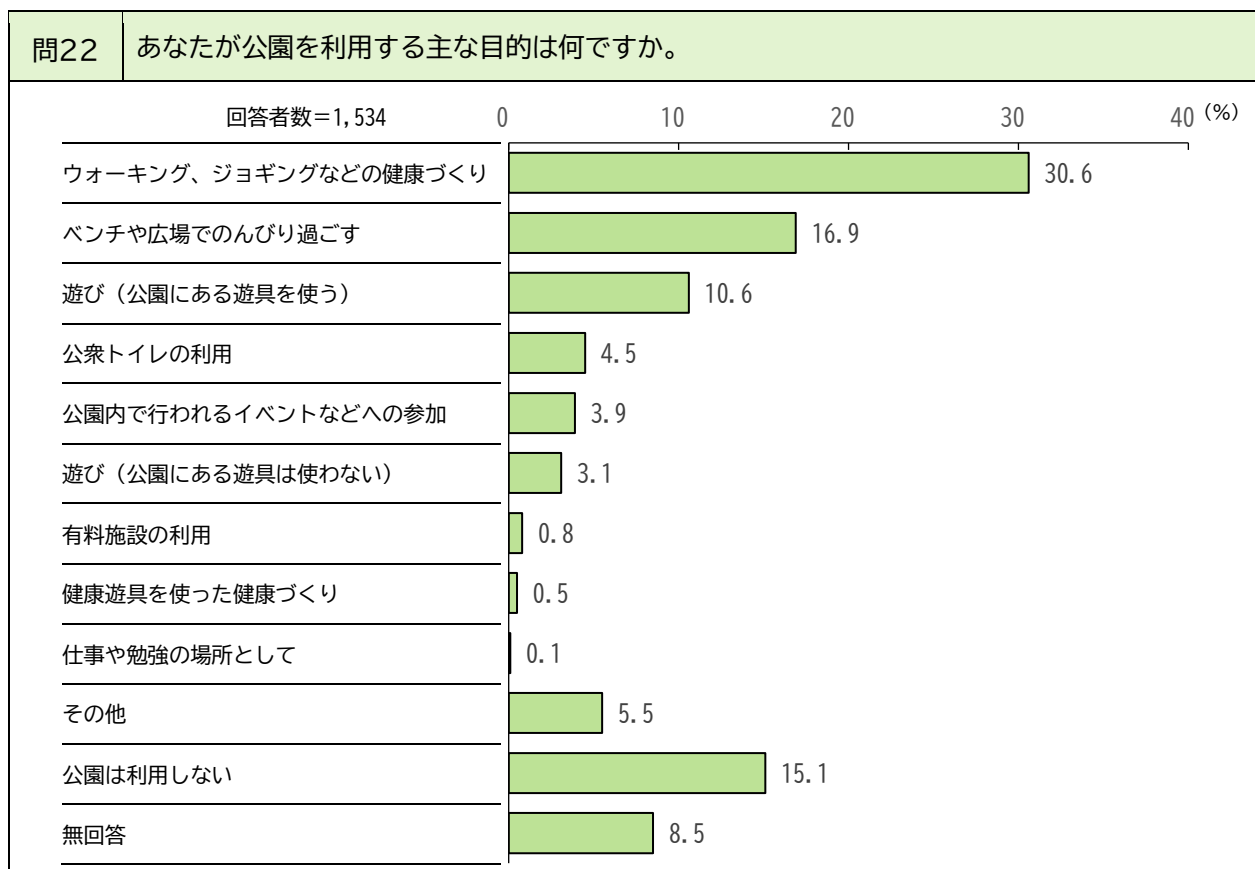
◇「週に1, 2回程度」が2割近く



○公園の利用頻度を聞いたところ、「週に1, 2回程度」(18.1%)が2割近くで最も多く、「週に5回以上・ほぼ毎日」～「週に1, 2回程度」を合わせると3割を超えている。

(2) 公園を利用する主な目的

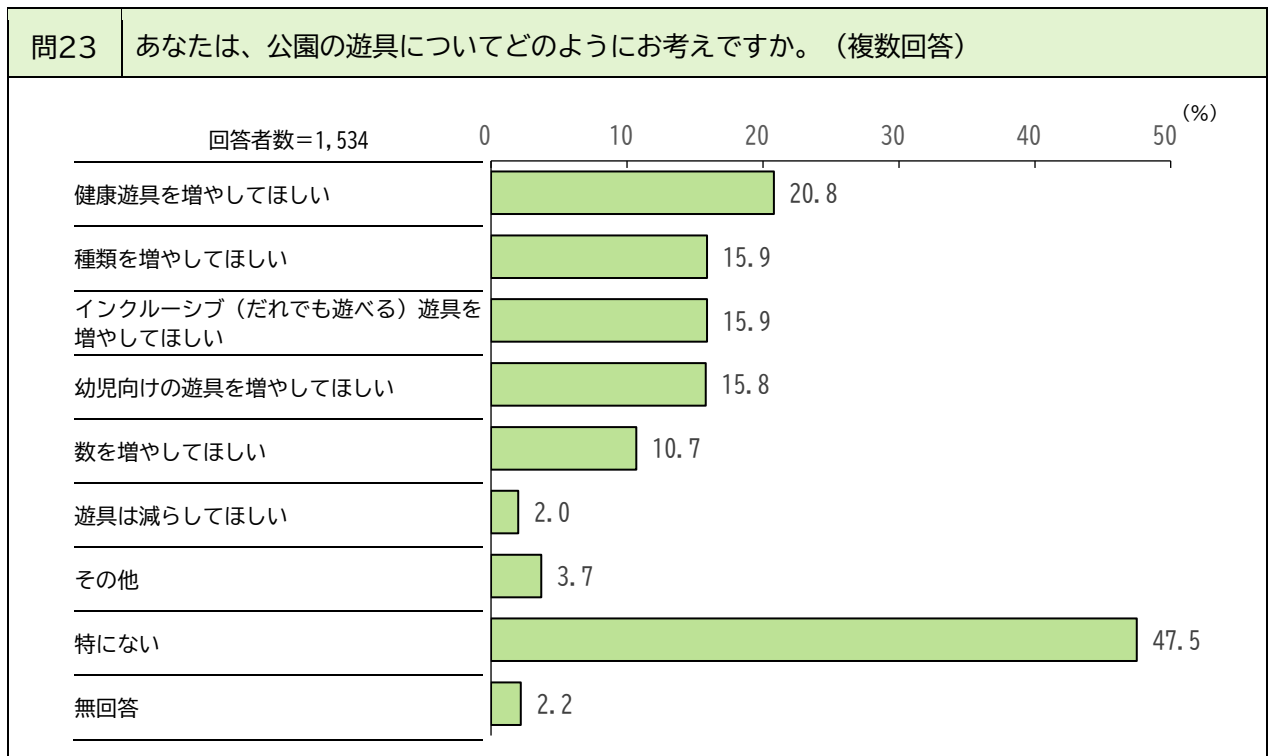
◇「ウォーキング、ジョギングなどの健康づくり」がほぼ3割



○公園を利用する主な目的を聞いたところ、「ウォーキング、ジョギングなどの健康づくり」(30.6%)がほぼ3割で最も多く、次いで「ベンチや広場でのんびり過ごす」(16.9%)、「遊び(公園にある遊具を使う)」(10.6%)と続いている。

(3) 公園の遊具についての考え

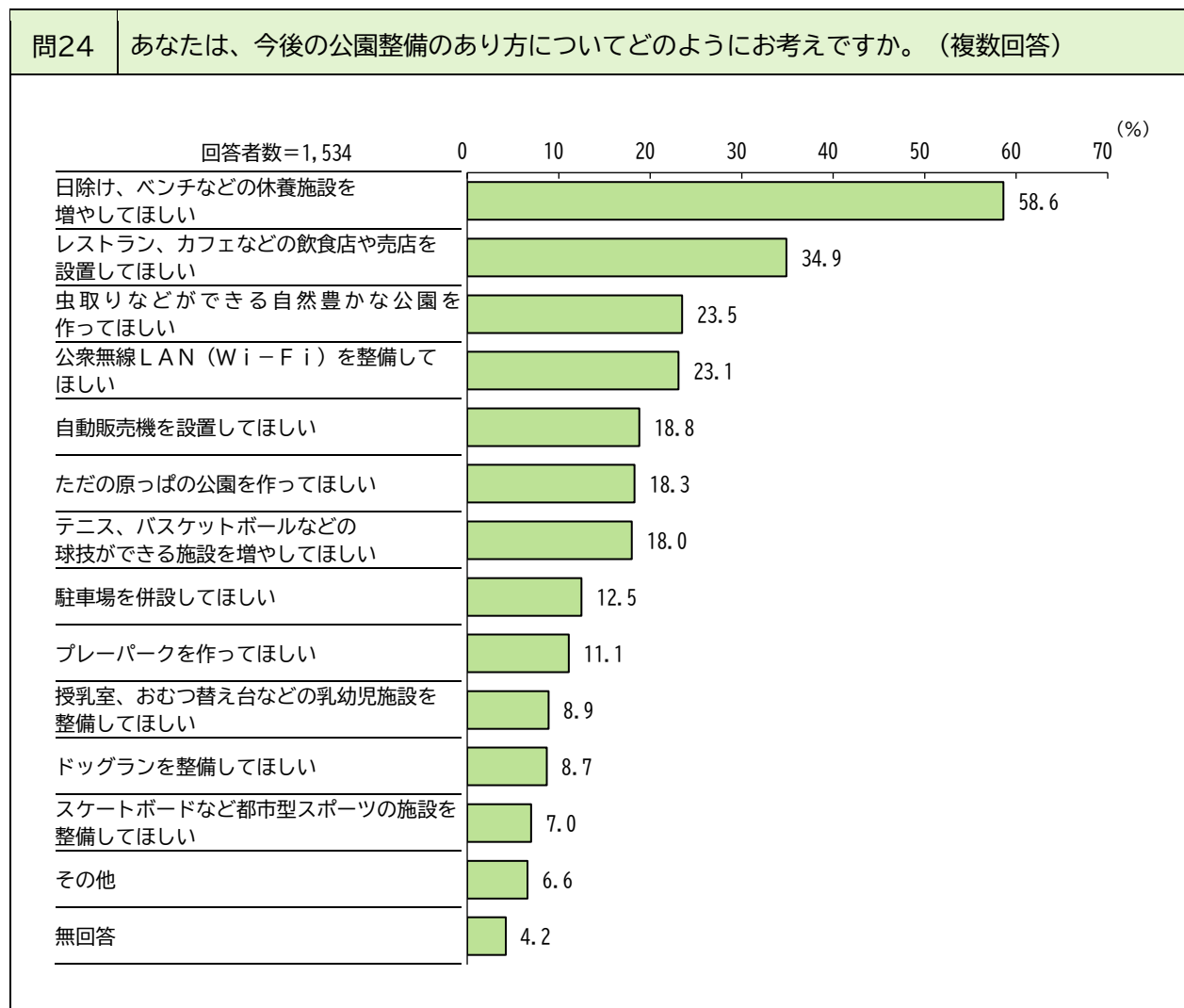
◇「健康遊具を増やしてほしい」がほぼ2割



○公園の遊具について聞いたところ、「健康遊具を増やしてほしい」（20.8%）がほぼ2割で最も多く、次いで「種類を増やしてほしい」（15.9%）、「インクルーシブ（だれでも遊べる）遊具を増やしてほしい」（15.9%）が並び、「幼児向けの遊具を増やしてほしい」（15.8%）と続いている。

(4) 公園整備のあり方についての考え

◇「日除け、ベンチなどの休養施設を増やしてほしい」が6割近く

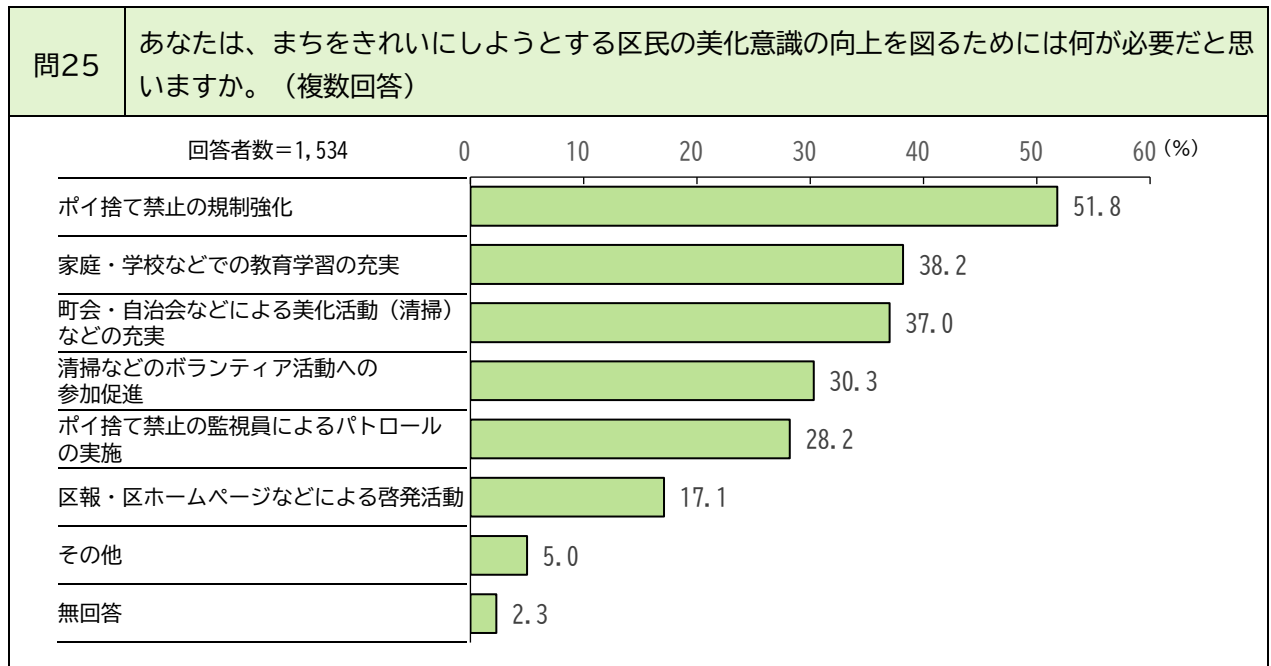


○今後の公園整備のあり方について聞いたところ、「日除け、ベンチなどの休養施設を増やしてほしい」（58.6%）が6割近くで最も多く、次いで「レストラン、カフェなどの飲食店や売店を設置してほしい」（34.9%）、「虫取りなどができる自然豊かな公園を作してほしい」（23.5%）、「公衆無線LAN (Wi-Fi) を整備してほしい」（23.1%）と続いている。

10 環境

(1) 区民の環境美化意識の向上を図るために必要だと思うもの

◇「ポイ捨て禁止の規制強化」が5割を超える

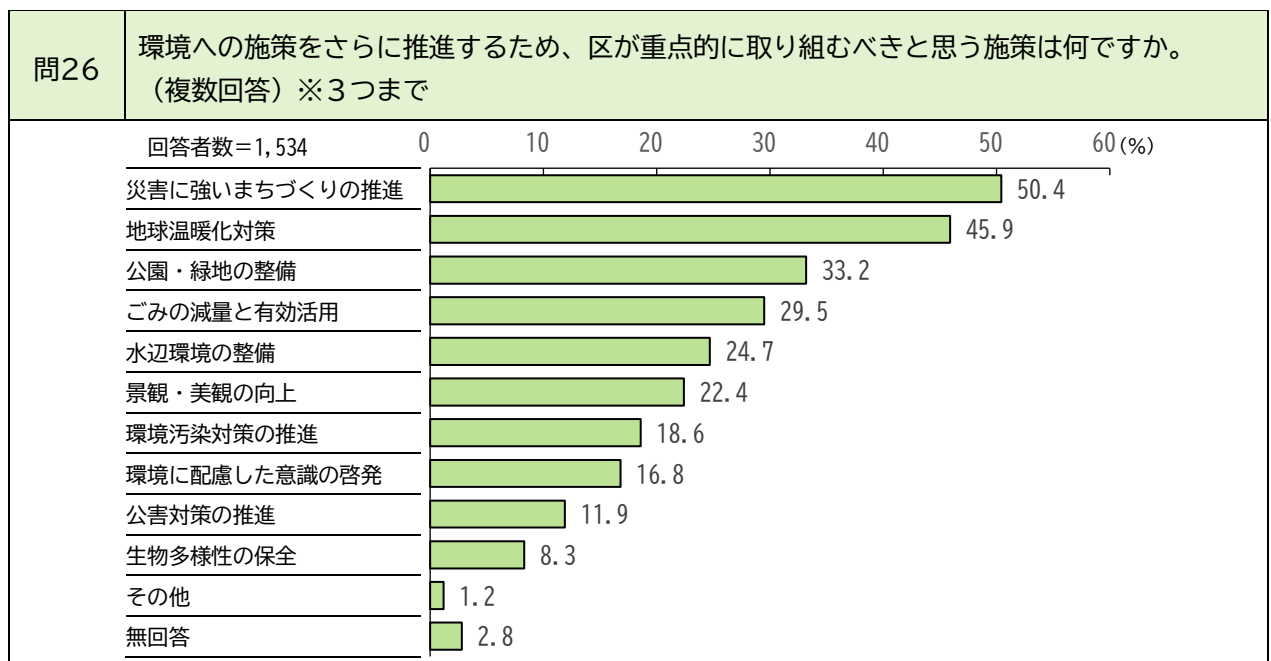


○区民の美化意識の向上を図るためには何が必要か聞いたところ、「ポイ捨て禁止の規制強化」（51.8%）が5割を超えて最も多く、次いで「家庭・学校などでの教育学習の充実」（38.2%）、「町会・自治会などによる美化活動（清掃）などの充実」（37.0%）と続いている。

(2) 環境への施策を推進するために、区が重点的に取り組むべき施策

新規

◇「災害に強いまちづくりの推進」が5割

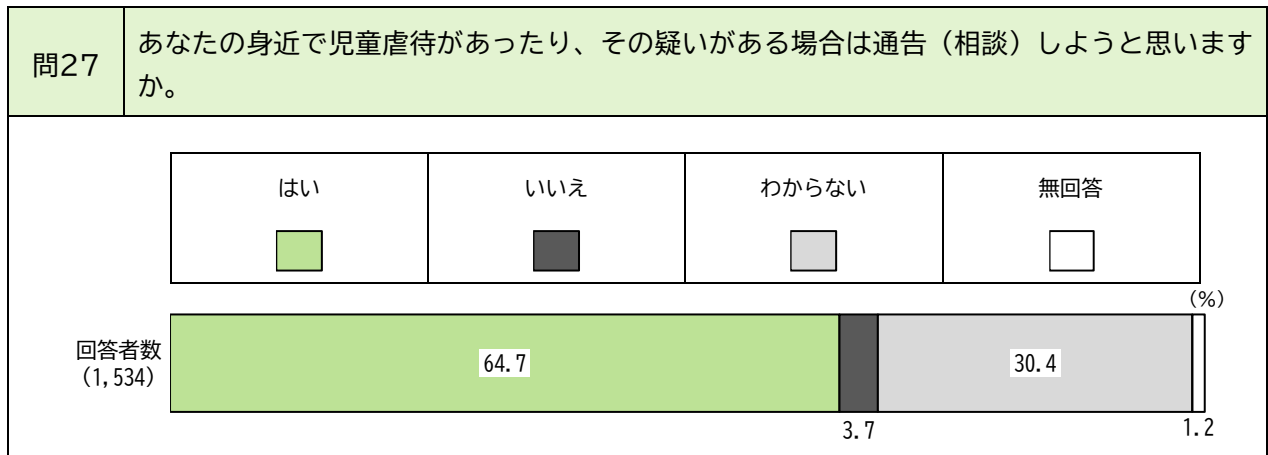


○環境への施策を推進するために区が重点的に取り組むべきと思う施策を聞いたところ、「災害に強いまちづくりの推進」（50.4%）が5割で最も多く、次いで「地球温暖化対策」（45.9%）、「公園・緑地の整備」（33.2%）と続いている。

11 児童虐待

(1) 身近で児童虐待があった場合の通告（相談）の有無

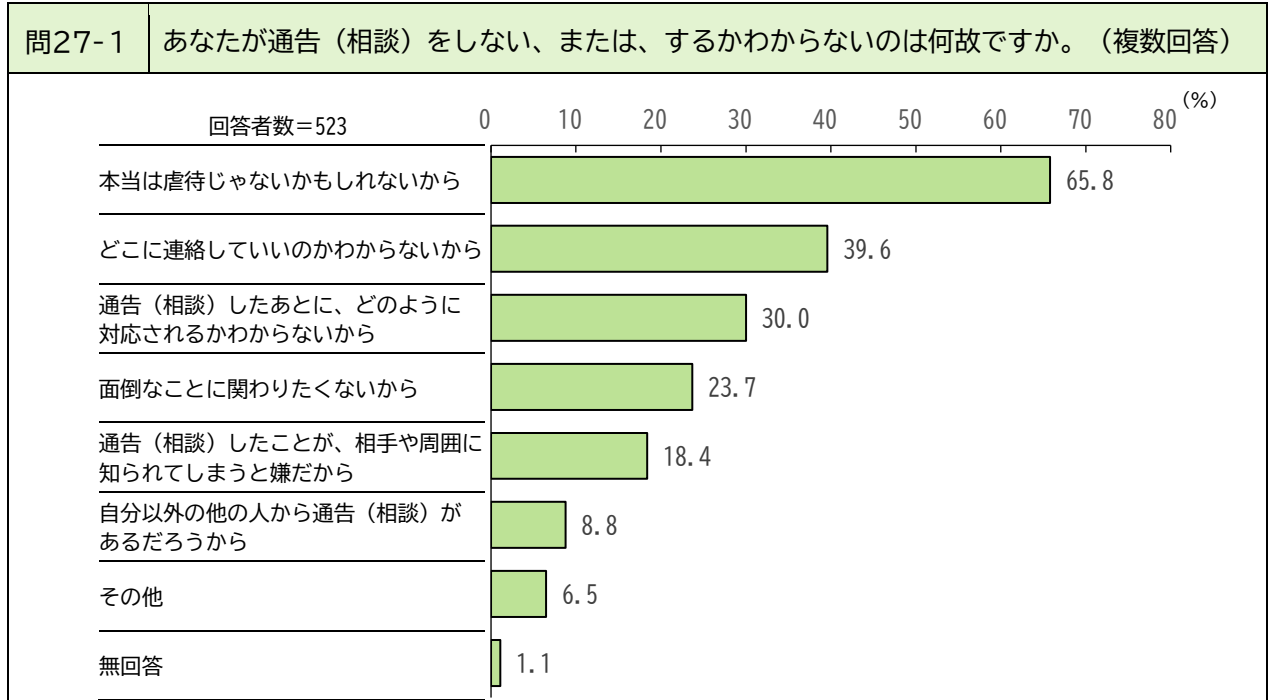
◇「通告（相談）する」が6割台半ば



○身近で児童虐待があったり、その疑いがある場合は通告（相談）するか聞いたところ、「はい」（64.7%）が6割台半ば、「いいえ」（3.7%）はわずかとなっている。また、「わからない」（30.4%）は3割となっている。

(2) 通告（相談）をしない、または、するかわからない理由

◇「本当は虐待じゃないかもしれないから」が6割台半ば

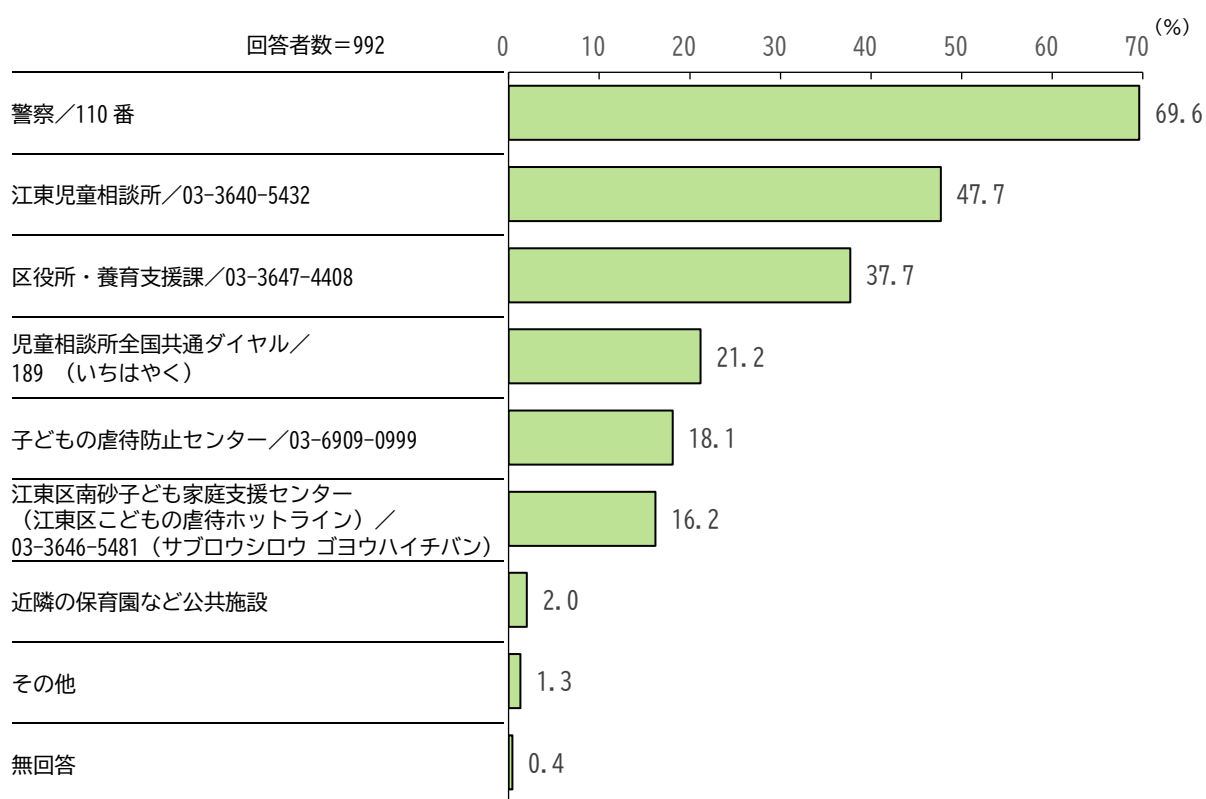


○身近で児童虐待があったり、その疑いがある場合に、通告（相談）をしない、または、するかわからないと答えた方（523人）に、その理由を聞いたところ、「本当は虐待じゃないかもしれないから」（65.8%）が6割台半ばで最も多く、次いで「どこに連絡していいのかわからないから」（39.6%）、「通告（相談）したあとに、どのように対応されるかわからないから」（30.0%）と続いている。

(3) 思いつく通告（相談）先

◇「警察／110番」が7割

問27-2 あなたが、思いつく通告（相談）先はどこですか。（複数回答）

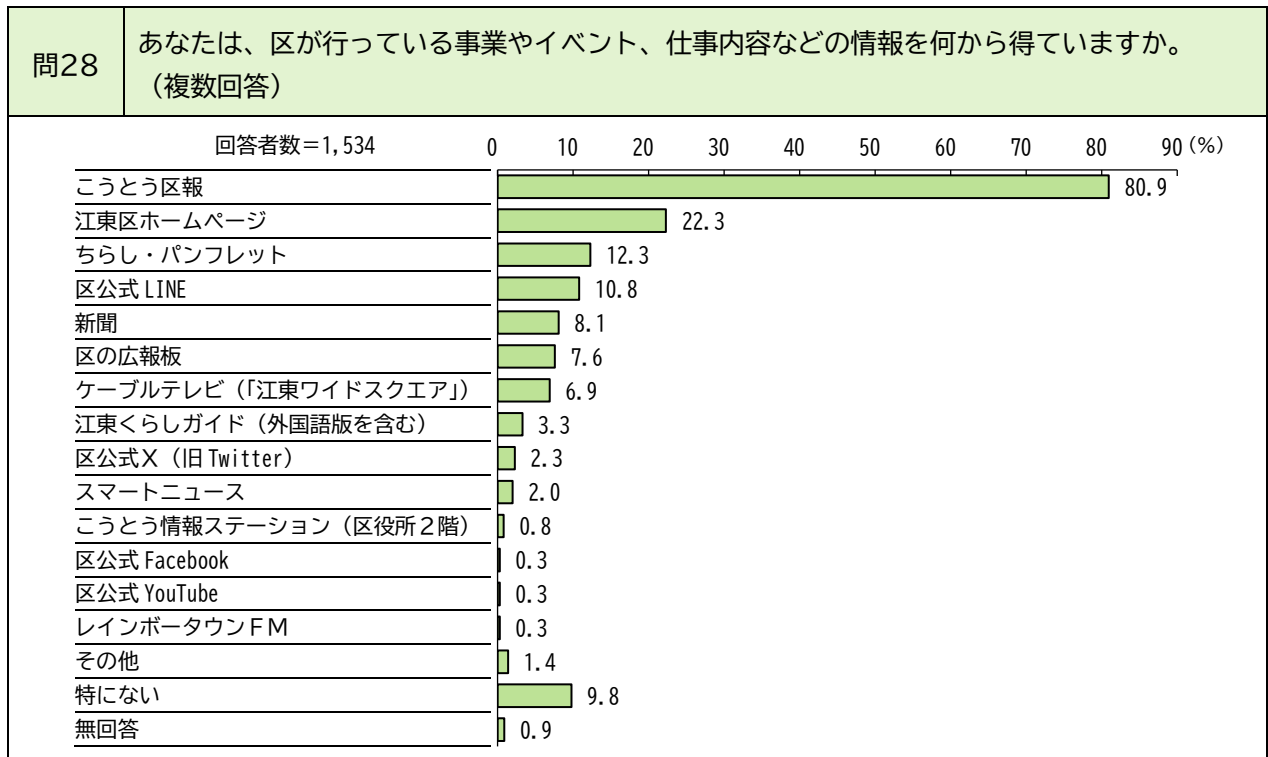


○身近で児童虐待があったり、その疑いがある場合に、通告（相談）をすると答えた方（992人）に、思いつく通告先を聞いたところ、「警察／110番」（69.6%）が7割で最も多く、次いで「江東児童相談所／03-3640-5432」（47.7%）、「区役所・養育支援課／03-3647-4408」（37.7%）と続いている。

12 広報

(1) 区が行っている事業やイベント、仕事内容などの認知媒体

◇「こうとう区報」がほぼ8割

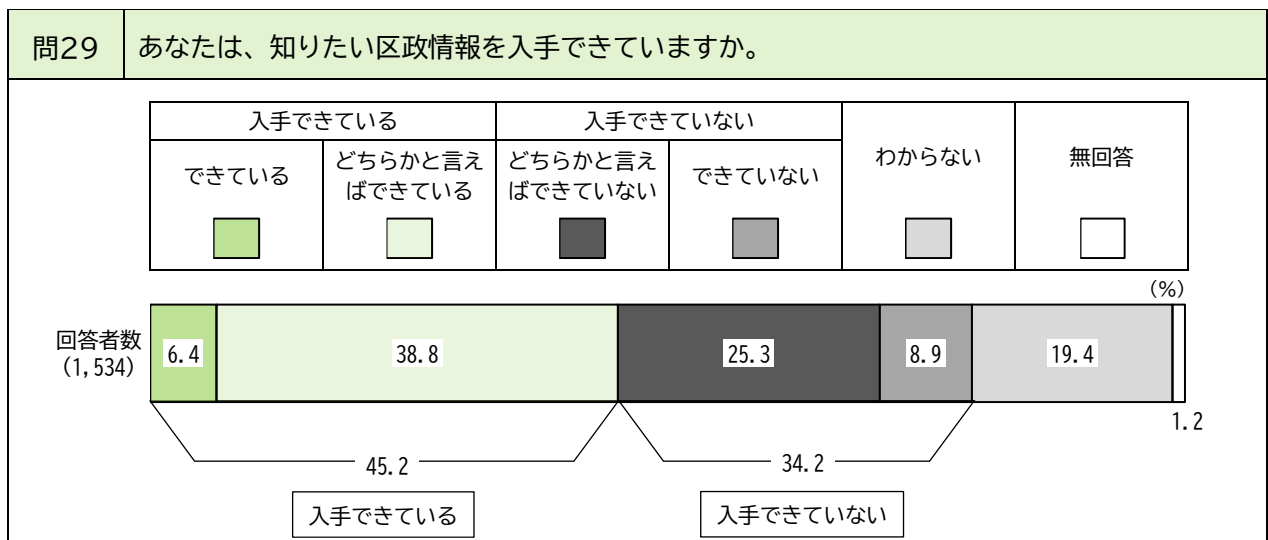


○区が行っている事業やイベント、仕事内容などの情報を何から得ているか聞いたところ、「こうとう区報」(80.9%)がほぼ8割で最も多く、次いで「江東区ホームページ」(22.3%)、「ちらし・パンフレット」(12.3%)と続いている。

(2) 区政情報の入手状況

新規

◇「入手できている」は4割台半ば

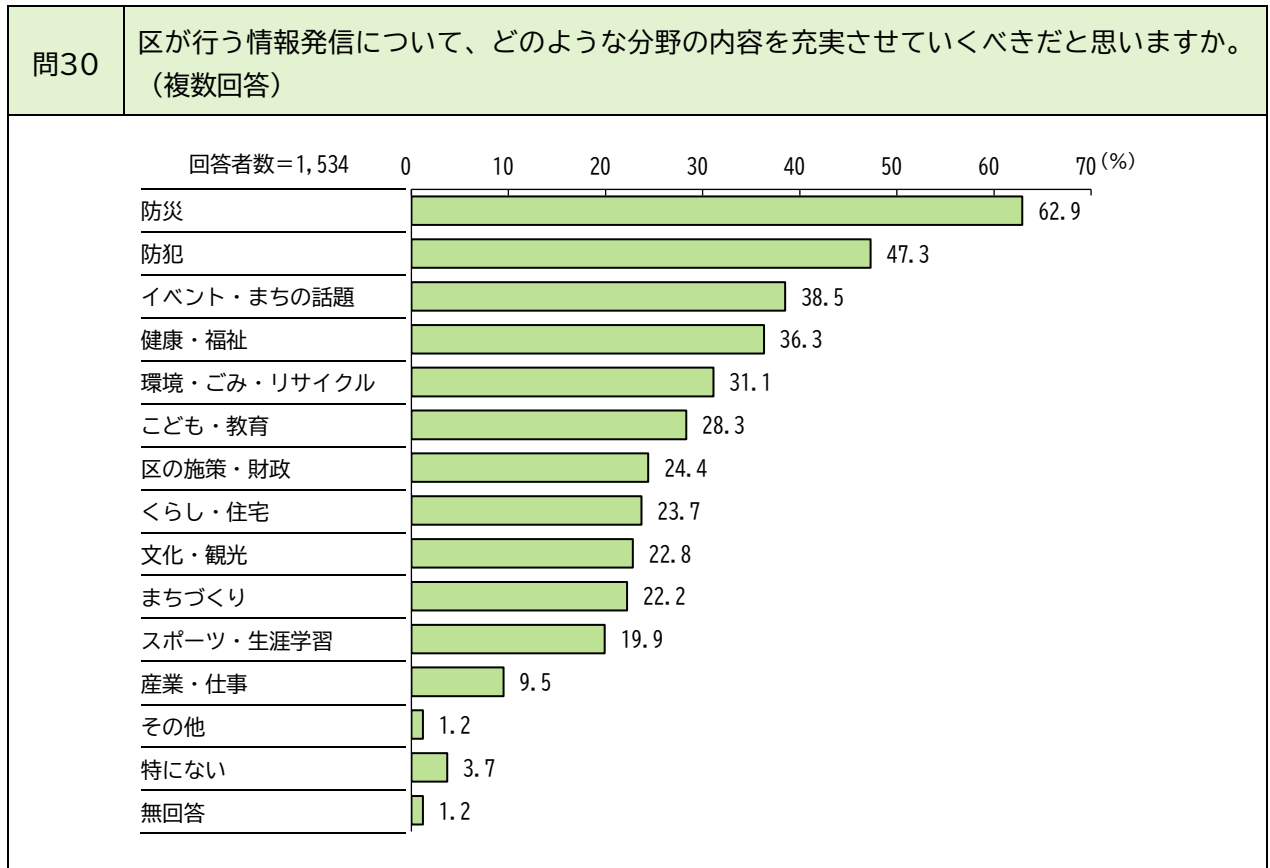


○知りたい区政情報を入手できているか聞いたところ、「できている」(6.4%)と「どちらかと言えればできている」(38.8%)の2つを合わせた「入手できている」(45.2%)は4割台半ばとなっている。一方、「どちらかと言えればできていない」(25.3%)、「できていない」(8.9%)を合わせた「入手できていない」(34.2%)は3割台半ばとなっている。

(3) 充実させるべき区の情報発信の分野

新規

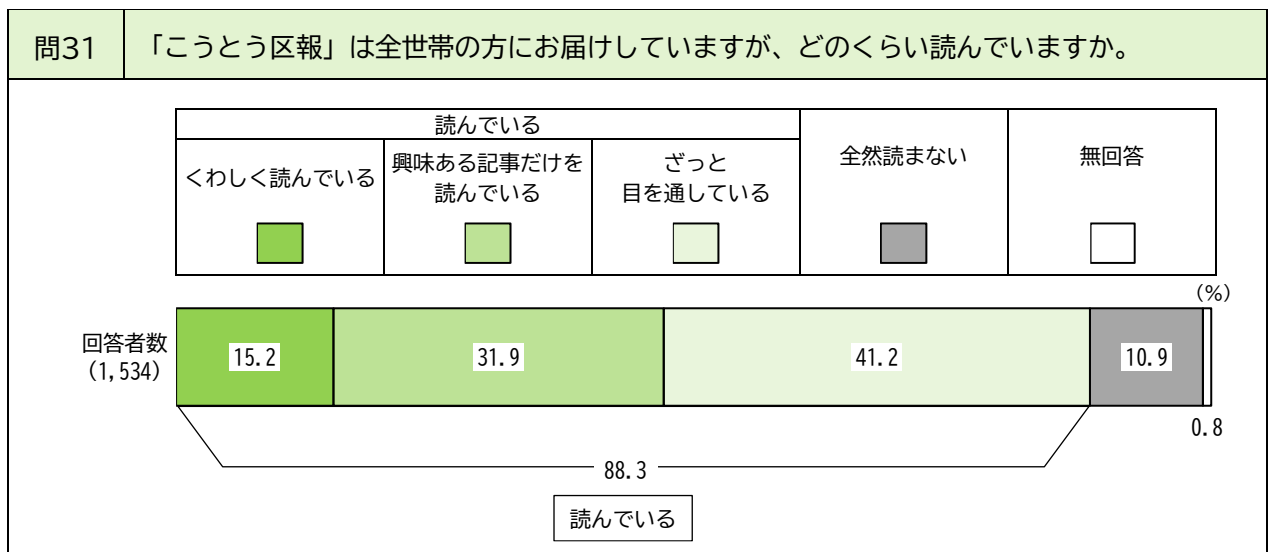
◇「防災」が6割を超える



○区が行う情報発信について内容を充実させていくべき分野を聞いたところ、「防災」(62.9%)が6割を超えて最も多く、次いで「防犯」(47.3%)、「イベント・まちの話題」(38.5%)と続いている。

(4) 「こうとう区報」の閲読状況

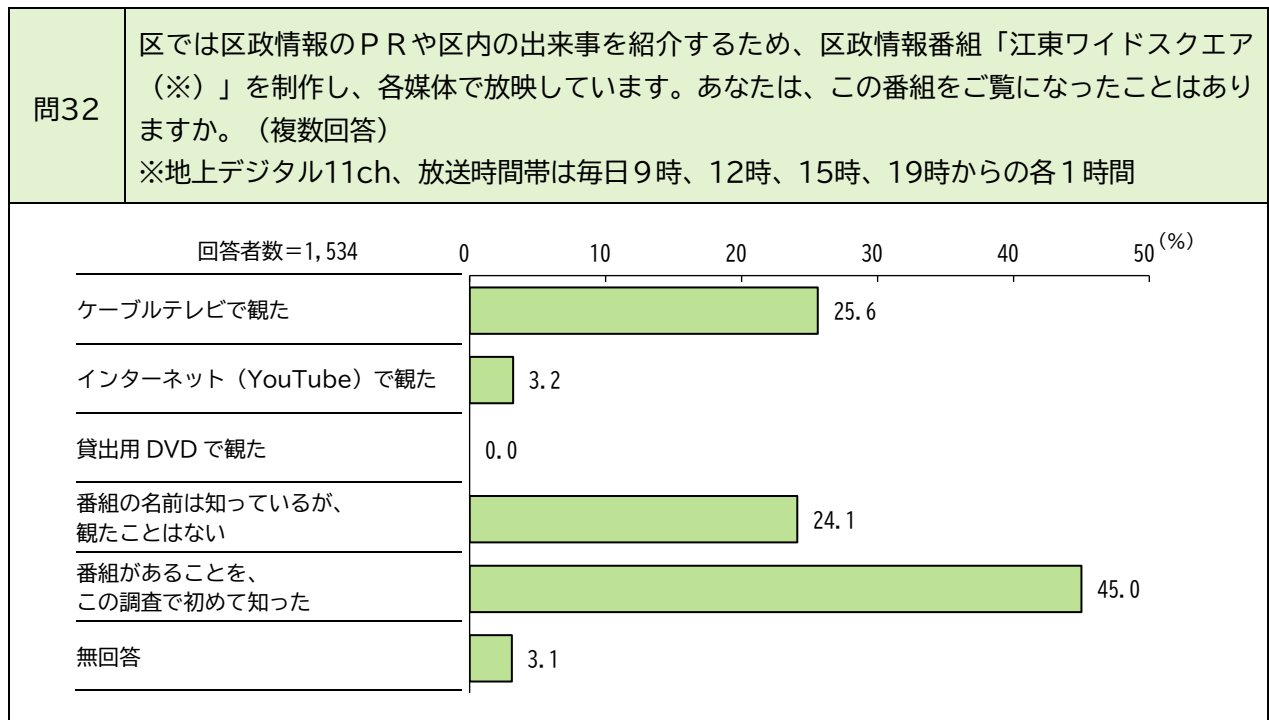
◇「読んでいる」は9割近く



○「こうとう区報」をどのくらい読んでいるか聞いたところ、「くわしく読んでいる」(15.2%)、「興味ある記事だけを読んでいる」(31.9%)、「ざっと目を通して」(41.2%)の3つを合わせた「読んでいる」(88.3%)が9割近くとなっている。

(5) 「江東ワイドスクエア」の視聴状況

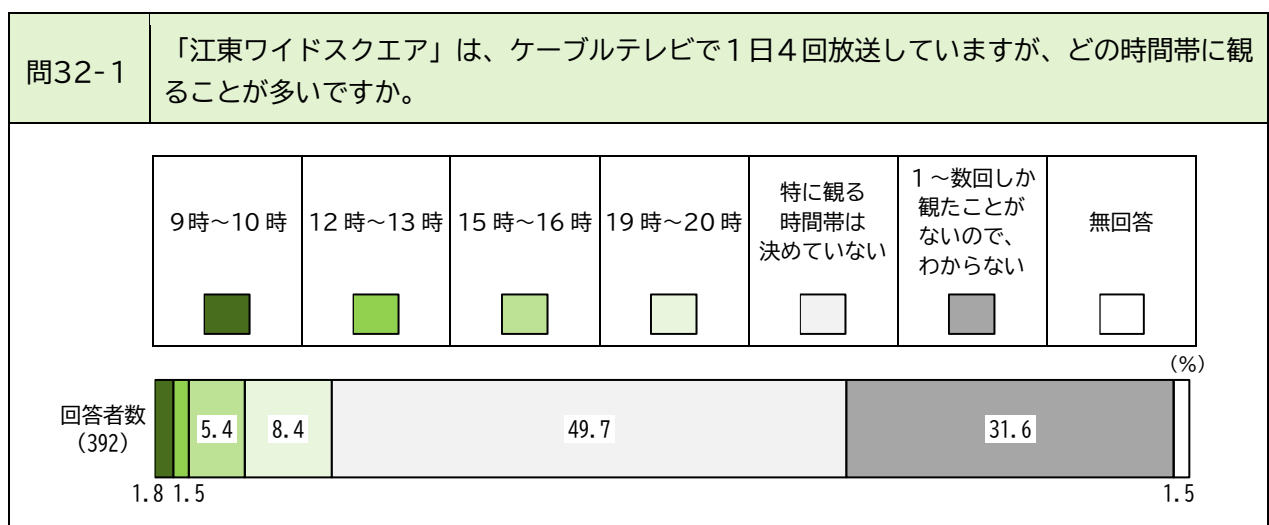
◇「ケーブルテレビで観た」が2割台半ば



- 「江東ワイドスクエア」を観たことがあるか聞いたところ、観た中では、「ケーブルテレビで観た」（25.6％）が2割台半ばで最も多い。一方、「番組の名前は知っているが、観たことはない」（24.1％）も2割台半ば、「番組があることを、この調査で初めて知った」（45.0％）が4割台半ばとなっている。

(6) 「江東ワイドスクエア」の視聴時間帯

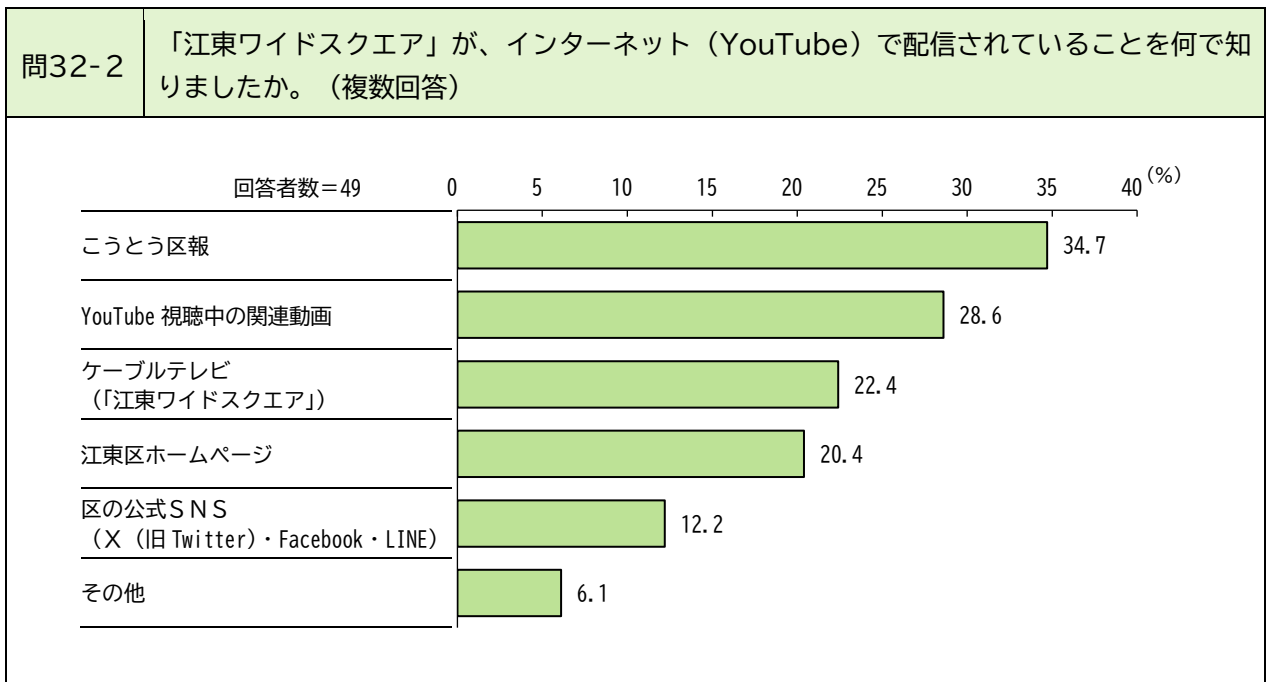
◇「特に観る時間帯は決めていない」が5割



- 「江東ワイドスクエア」をケーブルテレビで観たことがあると答えた方（392人）に、どの時間帯に観ることが多いかを聞いたところ、「特に観る時間帯は決めていない」（49.7％）が5割で最も多く、次いで「1～数回しか観たことがないので、わからない」（31.6％）、「19時～20時」（8.4％）と続いている。

(7) 「江東ワイドスクエア」インターネット配信の認知媒体

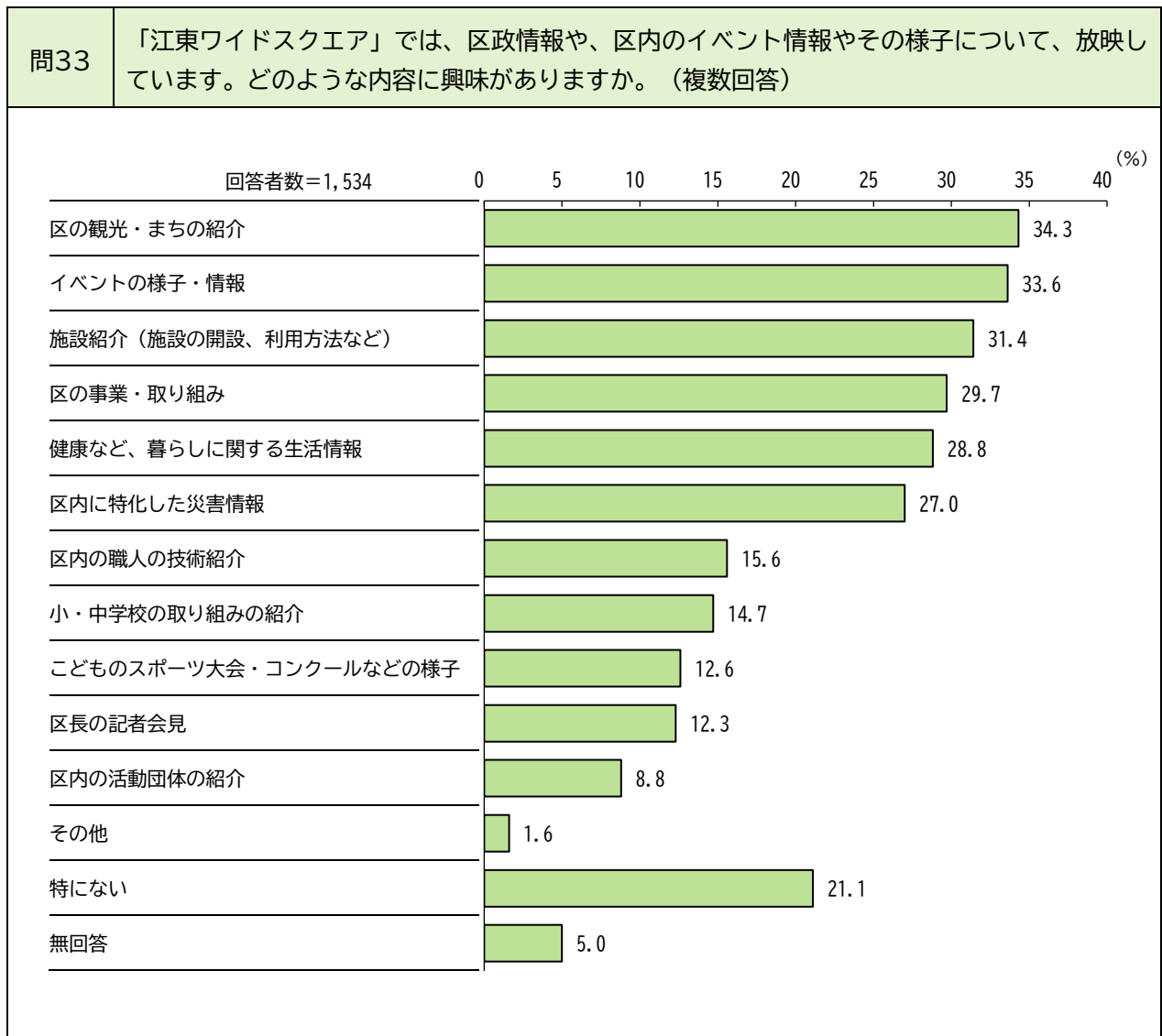
◇「こうとう区報」が3割台半ば



○「江東ワイドスクエア」をインターネットで観たことがあると答えた方（49人）に、インターネットで配信されていることを何で知ったかを聞いたところ、「こうとう区報」（34.7%）が3割台半ばで最も多く、次いで「YouTube 視聴中の関連動画」（28.6%）、「ケーブルテレビ（「江東ワイドスクエア」）」（22.4%）と続いている。

(8) 「江東ワイドスクエア」で興味のある内容

◇「区の観光・まちの紹介」が3割台半ば

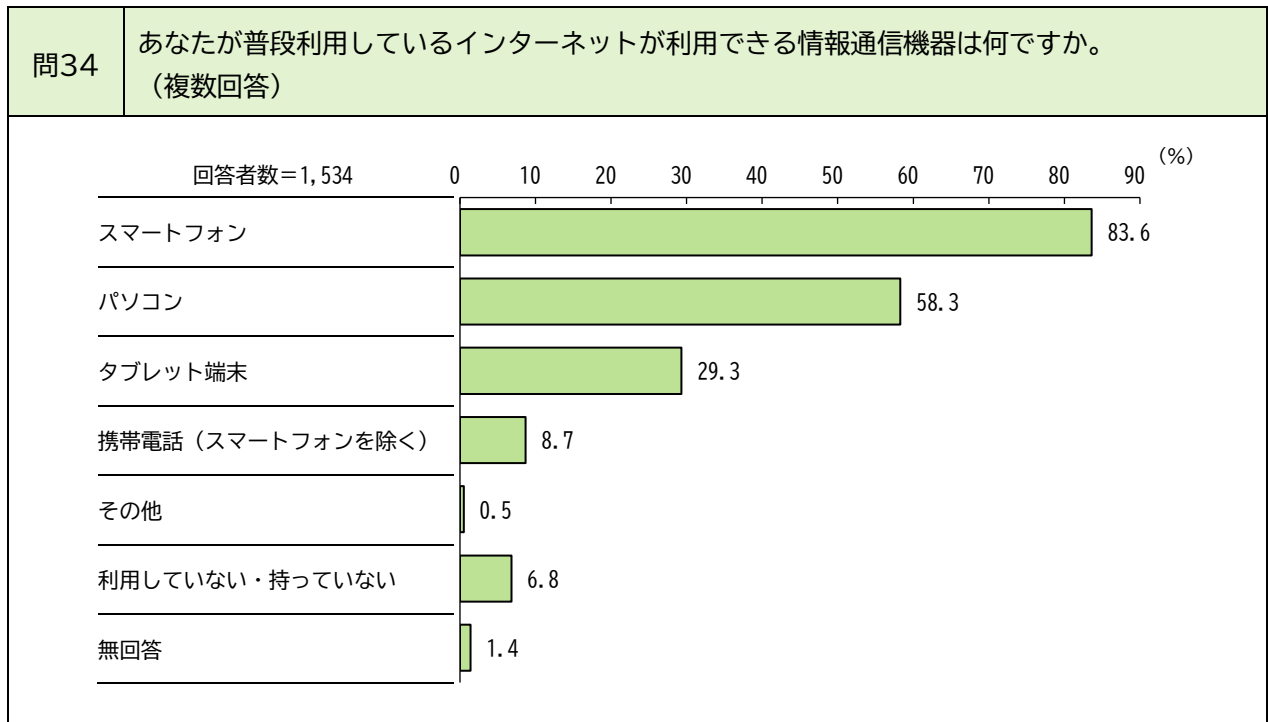


- 「江東ワイドスクエア」で、どのような内容に興味があるかを聞いたところ、「区の観光・まちの紹介」（34.3%）が3割台半ばで最も多く、次いで「イベントの様子・情報」（33.6%）、「施設紹介（施設の開設、利用方法など）」（31.4%）と続いている。

13 DX・ICT

(1) インターネットが利用できる情報通信機器の保有状況

◇「スマートフォン」が8割を超える

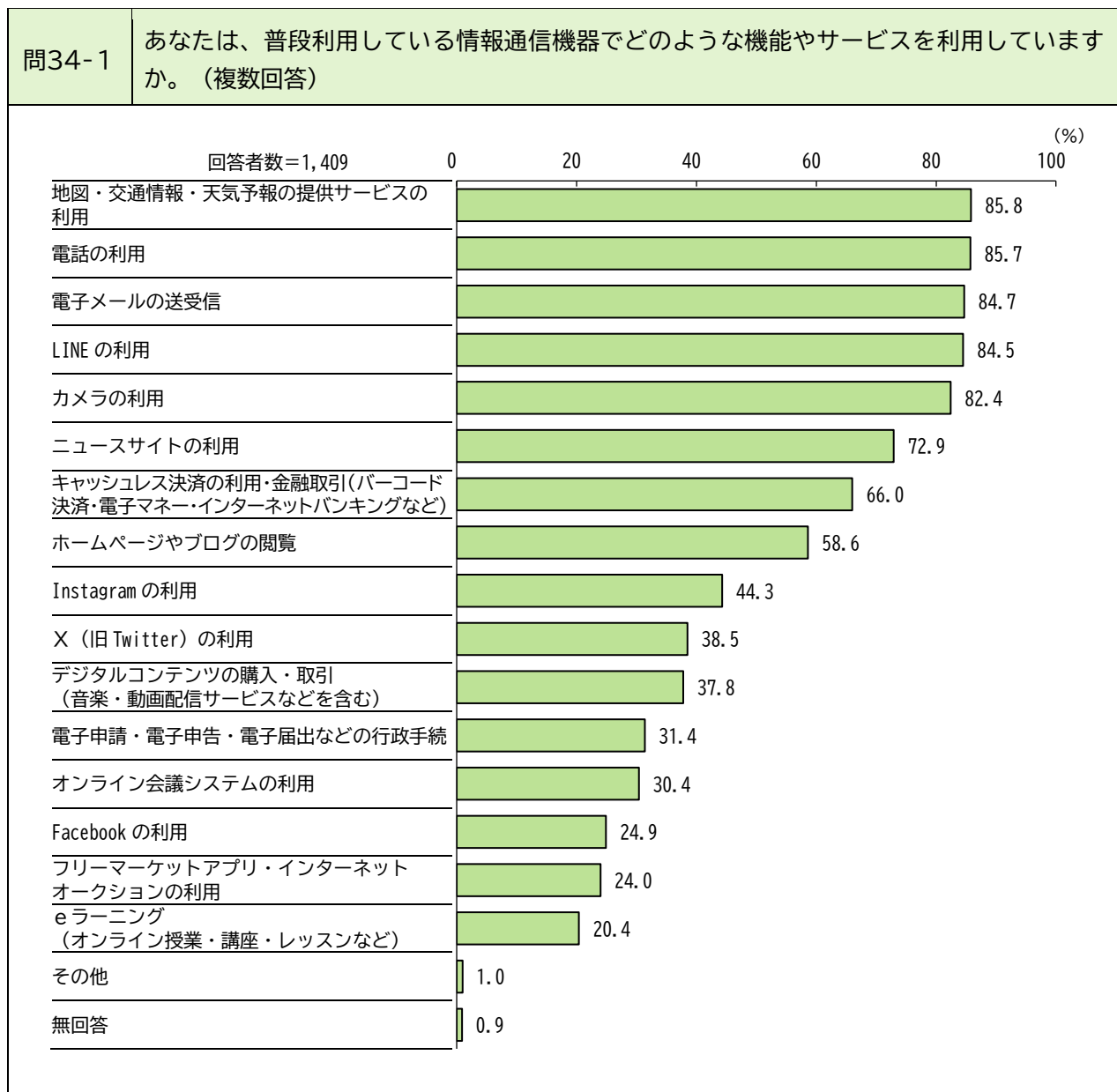


○インターネットが利用できる情報通信機器の保有状況を聞いたところ、「スマートフォン」(83.6%)が8割を超えて最も多く、次いで「パソコン」(58.3%)、「タブレット端末」(29.3%)と続いている。一方、「利用していない・持っていない」(6.8%)は1割未満となっている。

(2) 情報通信機器で利用している機能やサービス

新規

◇「地図・交通情報・天気予報の提供サービスの利用」、「電話の利用」、「電子メールの送受信」、「LINEの利用」が8割台半ば

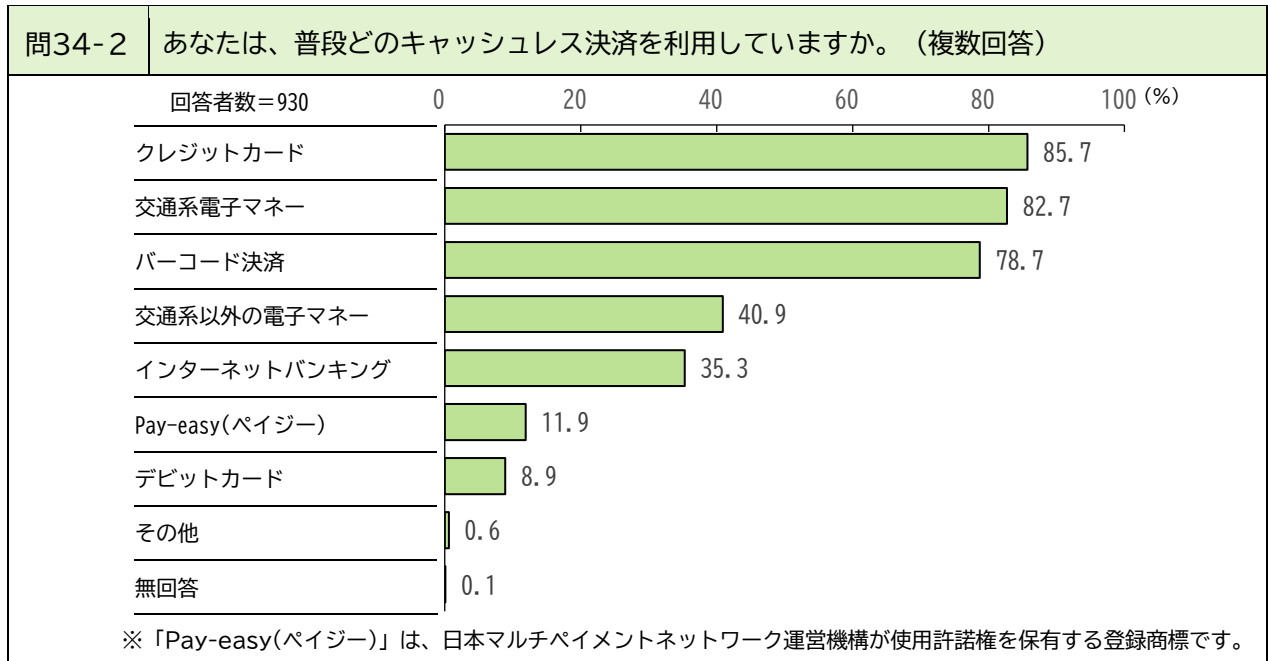


○インターネットが利用できる情報通信機器を利用していると答えた方(1,409人)に、どのような機能やサービスを利用しているか聞いたところ、「地図・交通情報・天気予報の提供サービスの利用」(85.8%)、「電話の利用」(85.7%)、「電子メールの送受信」(84.7%)、「LINEの利用」(84.5%)が8割台半ばとなっている。

(3) 利用しているキャッシュレス決済

新規

◇「クレジットカード」が8割台半ば

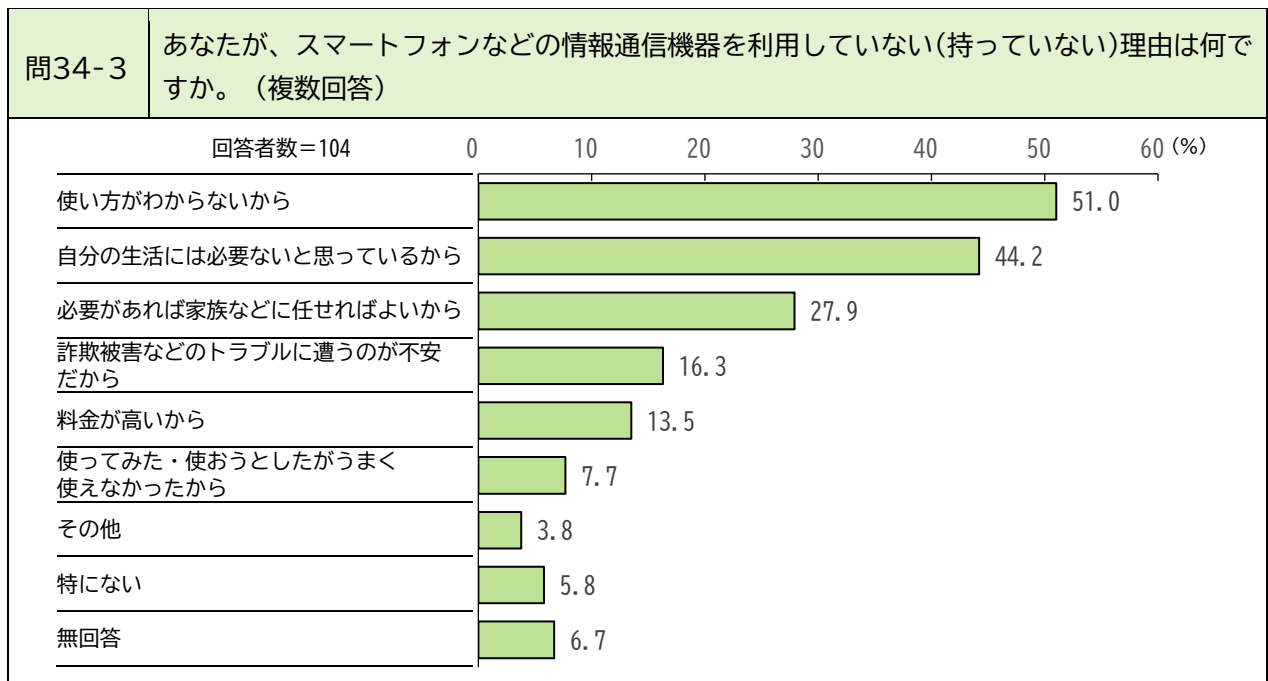


○キャッシュレス決済の利用・金融取引を利用していると答えた方(930人)に、普段どのキャッシュレス決済を利用しているか聞いたところ、「クレジットカード」(85.7%)が8割台半ばで最も多く、次いで「交通系電子マネー」(82.7%)、「バーコード決済」(78.7%)と続いている。

(4) 情報通信機器を利用していない理由

新規

◇「使い方がわからないから」が5割を超える

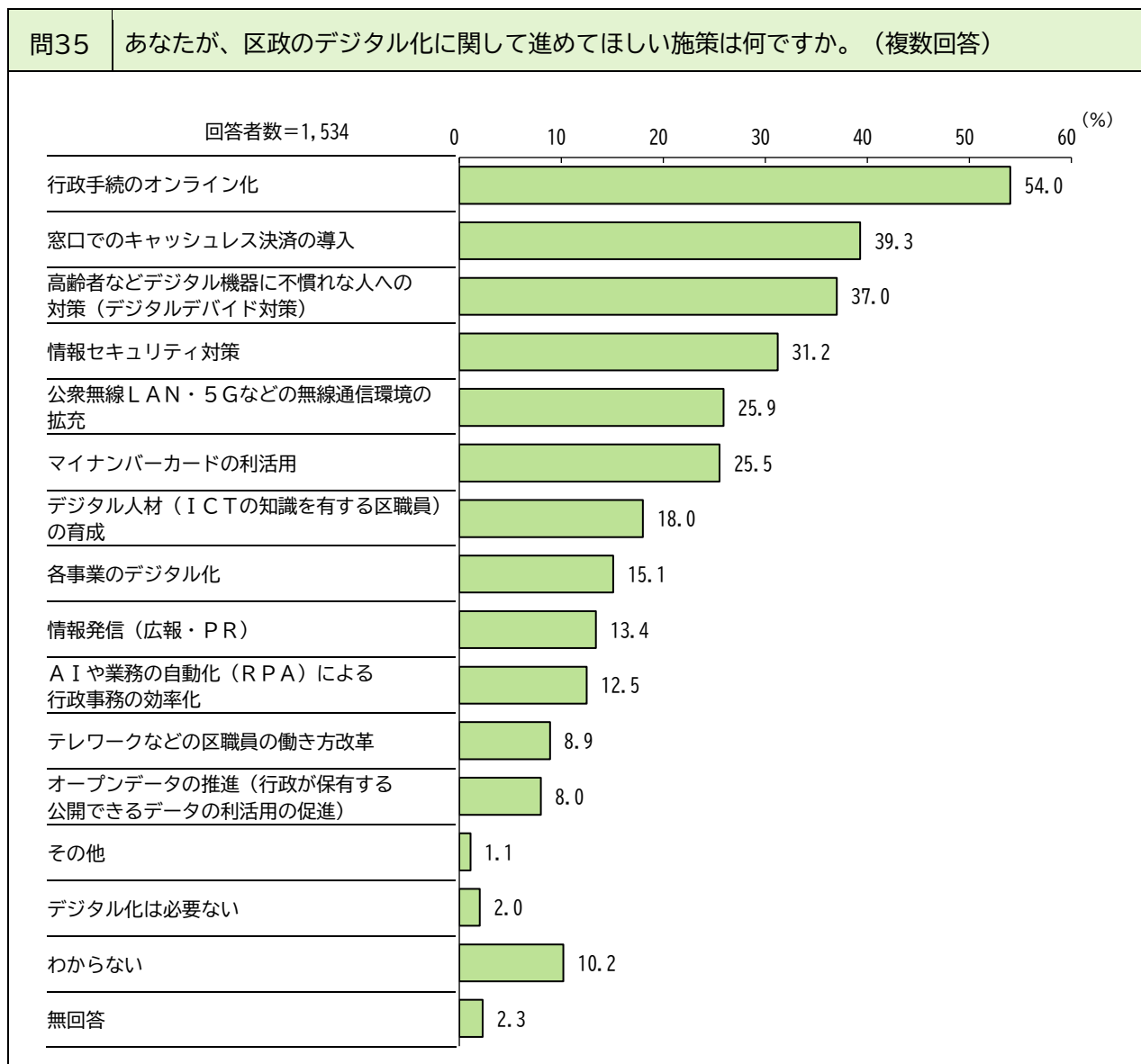


○インターネットが利用できる情報通信機器を利用していないまたは持っていないと答えた方(104人)に、利用していない(持っていない)理由を聞いたところ、「使い方がわからないから」(51.0%)が5割を超えて最も多く、次いで「自分の生活には必要ないと思っているから」(44.2%)、「必要があれば家族などに任せればよいから」(27.9%)と続いている。

(5) デジタル化を進めてほしい施策

新規

◇「行政手続のオンライン化」が5割台半ば

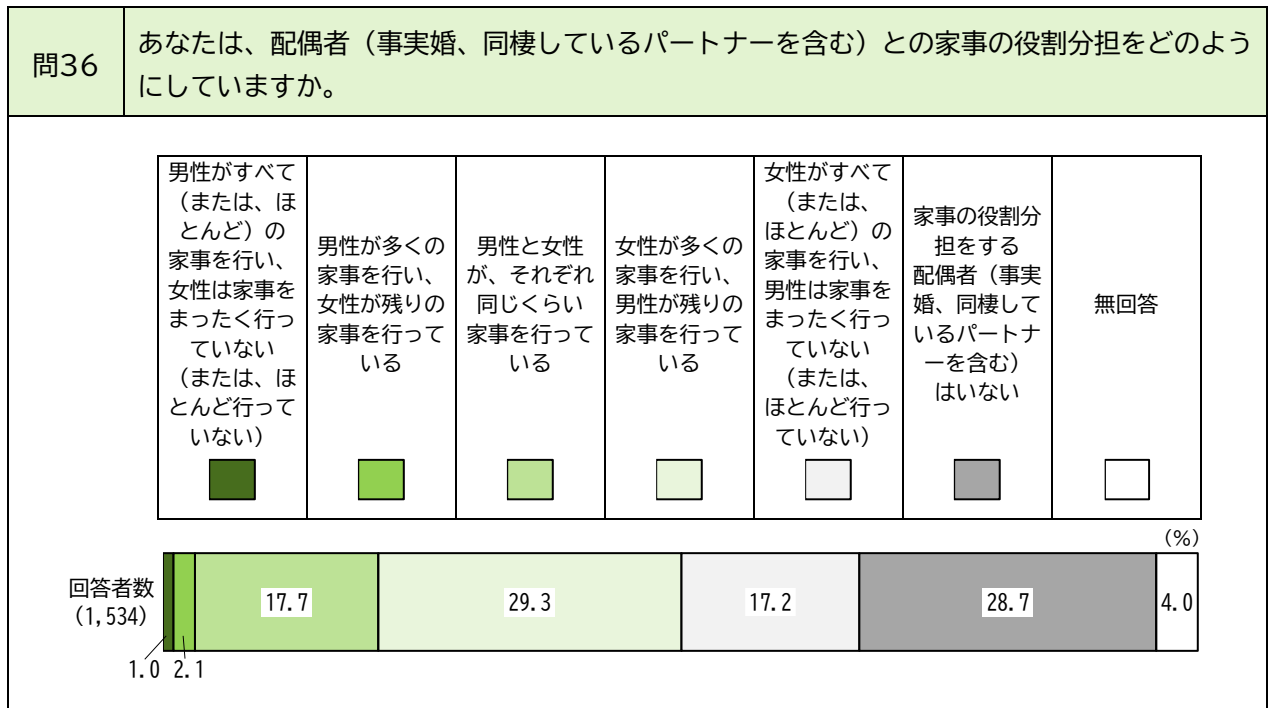


- 区政のデジタル化に関して進めてほしい施策を聞いたところ、「行政手続のオンライン化」（54.0%）が5割台半ばで最も多く、次いで「窓口でのキャッシュレス決済の導入」（39.3%）、「高齢者などデジタル機器に不慣れな人への対策（デジタルデバйд対策）」（37.0%）と続いている。

14 男女共同参画

(1) 配偶者との家事の役割分担

◇「女性が多くの家事を行い、男性が残りの家事を行っている」がほぼ3割

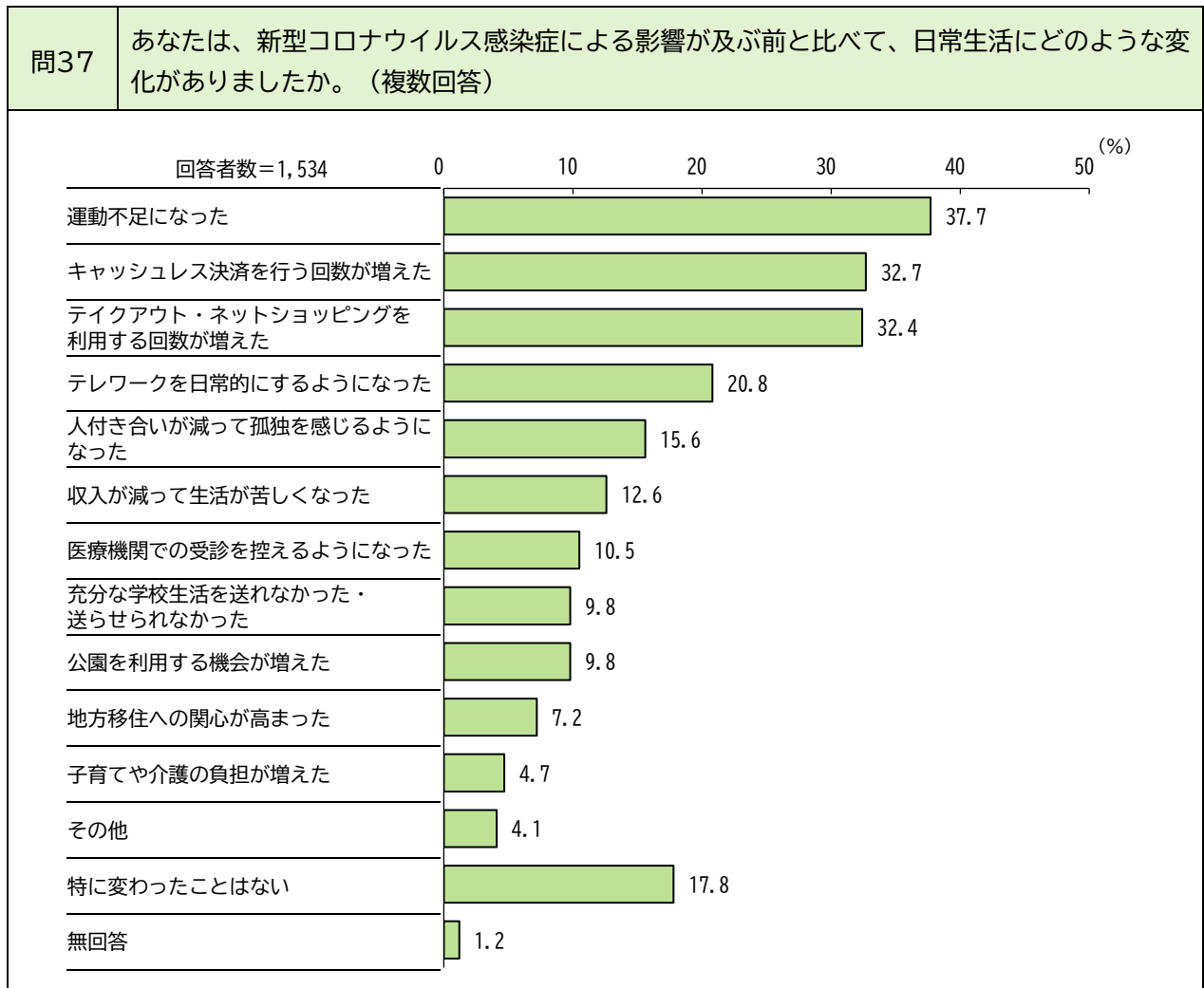


○配偶者との家事の役割分担について聞いたところ、「女性が多くの家事を行い、男性が残りの家事を行っている」（29.3%）がほぼ3割で最も多く、次いで「男性と女性が、それぞれ同じくらい家事を行っている」（17.7%）、「女性がすべて（または、ほとんど）の家事を行い、男性は家事をまったく行っていない（または、ほとんど行っていない）」（17.2%）と続いている。一方、「家事の役割分担をする配偶者（事実婚、同棲しているパートナーを含む）はいない」（28.7%）は3割近くとなっている。

15 コロナ禍による生活の変化

(1) 新型コロナウイルス感染症による日常生活の変化

◇「運動不足になった」が4割近く

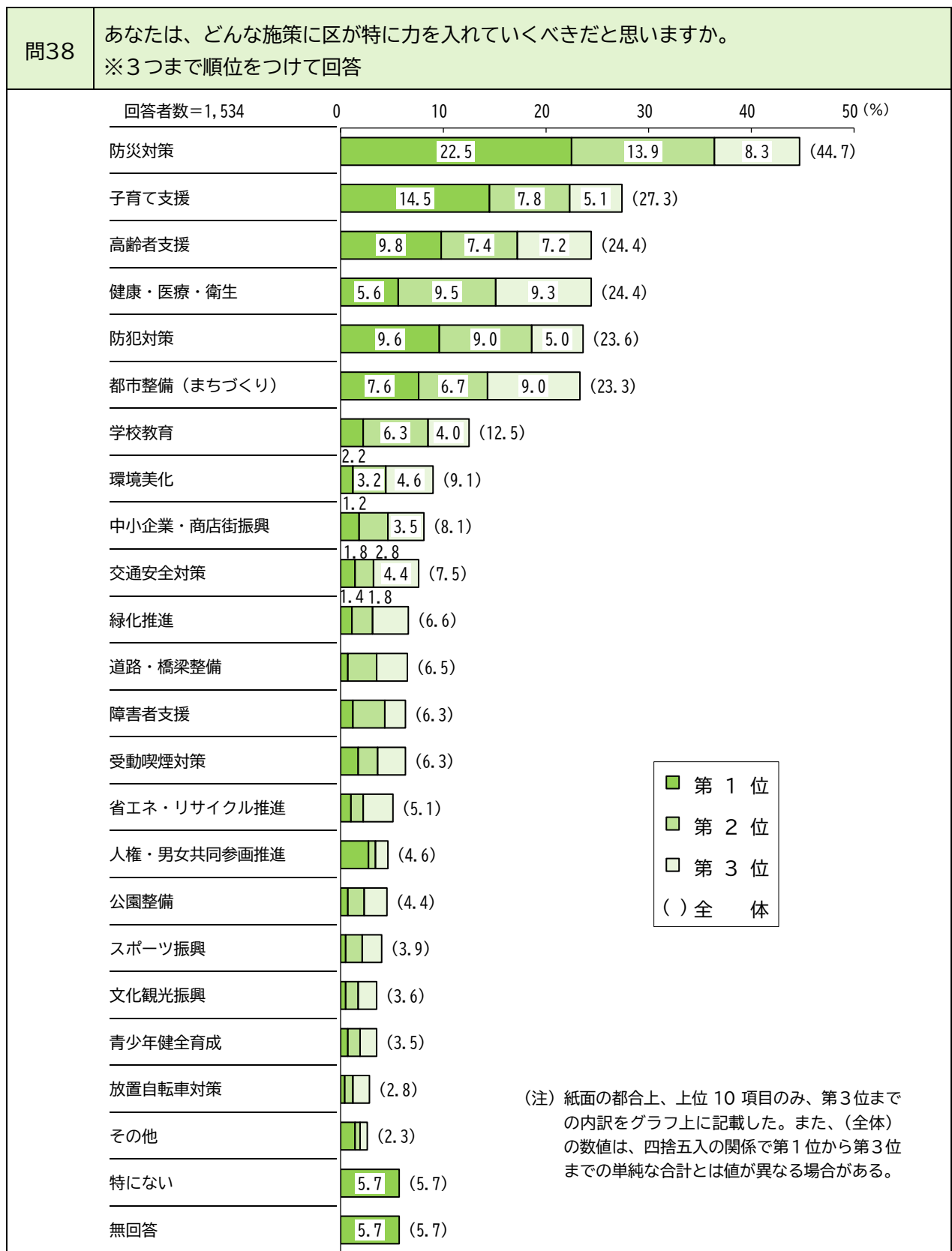


○新型コロナウイルス感染症による影響で日常生活にどのような変化があったかを聞いたところ、「運動不足になった」（37.7%）が4割近くで最も多く、次いで「キャッシュレス決済を行う回数が増えた」（32.7%）、「テイクアウト・ネットショッピングを利用する回数が増えた」（32.4%）と続いている。

16 施策への要望

(1) 力を入れてほしい施策

◇「防災対策」が4割台半ば



○区に対して特に力を入れてほしいものを、第1位から第3位までを累計した「全体」でみると、「防災対策」(44.7%)が4割台半ばで最も多く、次いで「子育て支援」(27.3%)、「高齢者支援」(24.4%)、「健康・医療・衛生」(24.4%)と続いている。

第 26 回 江東区政世論調査 〈概要版〉

令和 5 年（2023 年）12 月発行 印刷物登録番号（5）43 号

編集発行 江東区 政策経営部 広報広聴課 広聴相談係
江東区東陽 4-11-28 2階 22 番窓口
電話：03-3647-2364 FAX：03-3647-9635

調査機関 株式会社アダムスコミュニケーション